LION

今月の特集

国際協会100周年Ⅱ

7

IN JAPAN Official Publication of Lions Clubs International

JULY 2017 WWW.THELION-MAG.JP
ライオン誌（毎月20日発行）第60巻第1号 2017年6月20日発行 昭和33年12月19日付第3種郵便物認可

LION 電子版

ライオン誌日本語版では、2009年7月号から電子版の配信を開始。2016年からは、日本語版が創刊された1958年以降の全てのライオン誌を、電子版アーカイブとして公開しています。併せて全バックナンバーの記事を検索出来るシステムを開発し、ライオン誌ウェブマガジン上でご覧頂けるようになっています。ぜひご活用ください。

■ライオン誌日本語版最新号
ライオン誌日本語版の最新号は、ライオン誌ウェブマガジンのトップページにある表紙写真をクリックすると、雑誌形式の電子版が開きます。
http://www.thelion-mag.jp

■ライオン誌日本語版バックナンバー
1958年の創刊以来、全てのライオン誌日本語版が電子版でご覧頂けます。ウェブマガジン・トップページ左にある「アーカイブ」メニューからお入りください。最初のページでは、記事の検索も出来るようになっています。
●アーカイブ（創刊以来のバックナンバーの全記事検索）
http://www.thelion-mag.jp/emag.php

ライオン誌ウェブマガジンからはこの他、ライオン誌へのアクティビティ投稿や、ライオン誌読者プレゼントの応募、ライオン誌出版物の注文が、オンラインで出来るようになっています。

●アクティビティ投稿
http://www.thelion-mag.jp/report/activity/index.htm

●読者プレゼント応募
http://www.thelion-mag.jp/modules/inquirysp/index.php?op=0\

●ライオン誌出版物の注文
http://www.thelion-mag.jp/modules/inquirysp/index.php?op=2

電子版は専用アプリを使用することで、スマートフォンやタブレットからはオフラインでも閲読出来ます。電子版専用アプリは、ダイレクトクラウド社が無料で提供しているカタログビューア「Wisebook CloudViewer」で、iPhoneやiPadなどのiOSはApp Storeから、Android系スマートフォンやタブレット用はGoogle Playから無料でダウンロード出来ます。

■Wisebook CloudViewer（Android版）
Android版のGoogle Playダウンロード・ページ
play.google.com/store/apps/details?id=jp.wisebook.cloudviewer

■Wisebook CloudViewer（iOS版）
iOS版のApp Storeダウンロード・ページ
itunes.apple.com/jp/app/wisebook-cloudviewer/id980521598

●国際協会ライオン誌日本語版デジタル（試験運用中）：http://mydigimag.rrd.com/publication?i=409933

●ライオン誌 Facebook：https://www.facebook.com/LION.MAG.JP
●ライオン誌 Twitter：https://twitter.com/LionJP
●ライオン誌 Instagram：https://www.instagram.com/lionmagjp/

LION MAGAZINE IN JAPAN
July 2017, Vol.60 No.1

We Serve CONTENTS

■2017年7月号
表紙
神奈川県横浜市
関帝廟
写真／鈴木秀晃

本誌は環境に配慮したFSC®認証紙を使用しています。

SCENE

神奈川県・大和リバティ ライオンズクラブ

取材／鈴木秀晃

障害を持つ人たちやその家族と一緒に、そば打ちを体験

大和市は神奈川県のほぼ中央、南北に長く、北を東京都町田市、南を藤沢市と接している。現在は海岸線から約20キロ離れた内陸の街だが、大昔は相模湾がこの辺りまで入り込み、古くは「深海」や「深水」と書かれた「深見」という地名も市内に残っている。深見は平安時代に編纂された『和名類従抄』にも掲載されており、この地が古くから開けていたことを物語っている。

5月27日、その深見地区にある障害者施設「ワークステーション・菜の花」で、大和リバティ ライオンズクラブ（荻窪武士会長／35人）による「親子ふれあいそば打ち体験」が行われた。同施設は入浴サービスや創作活動といった生活介護、また企業からの受注作業や自主製品製作などの就労支援を行っており、知的障害や身体障害を持つ人たち57人が通所している。大和リバティ ライオンズクラブでは東日本大震災以来、継続支援している岩手県大船渡市の海産物を同施設のイベントで販売したり、大船渡の児童養護施設に「菜の花」の自主製品を贈ったりして、複合的な奉仕対象としている。

そば打ち体験は今年で5回目。施設の利用者と家族が一緒に楽しむ機会が少ないと聞き企画した。当日は施設近くの横浜市瀬谷区でそば粉を製造する神奈川農産工業㈱の協力を得て、「一鉢二延し三包丁」と言われる一通りのそば打ちを体験する。大和リバティ ライオンズクラブのメンバーも、自分たちの手でそばを打つ施設利用者とその家族をサポート。一緒に楽しく作業をしながら、交流を深めている。

SCENE

岩手県・久慈ライオンズクラブ

取材／河村智子　写真／宮坂恵津子

台風被害にひるむことなく奉仕に励む

岩手県北部、太平洋に面した久慈市は「北限の海女」で知られる。と言えば、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」のテーマ曲の軽快なメロディーを思い起こす方も多いだろう。久慈はドラマの舞台となった町だ。昨年8月31日、朝ドラ効果で地域の活性化を期していた町を、統計史上初めて東北地方太平洋側に上陸した台風20号が襲った。豪雨によって市内を流れる久慈川があふれ、市中心部が冠水。久慈駅前と商店街一帯が深さ約1メートルの泥水に覆われた。久慈ライオンズクラブ（對馬博貴会長／80人）の会員も半数が被災したが、クラブはかき出した泥を入れる土嚢袋（どのう）や、長野県・上田ライオンズクラブから届いたシーツ千枚を市に贈るなど救援に当たり、10月29日には予定通り結成50周年記念式典を迎えることが出来た。

4月27日、久慈川河川敷に久慈ライオンズクラブのメンバーたちの姿があった。台風による増水で以前植えたツツジの一部が枯れたため、その補植として100本を植えるのだ。クラブは15年前から、久慈川と長内川の河川敷に市の花であるツツジを植えてきた。耐寒・耐雪性に優れた「いわて紫」という固有種で、久慈川にはこれまでに千本余りを植樹。5月末に紫色の花を咲かせて、川沿いにある小、中学校の児童、生徒や市民の目を楽しませている。メンバーは地中にきつく根を張った枯れ木をスコップで掘り出しては、新しい苗木を植えていった。その傍らでは、10年前に植えたツツジが水害にも負けず生き延びて、みずみずしい新芽を吹いていた。

CLUB REPORT クラブ・リポート

334-B地区

三重県・四日市中央ライオンズクラブ

采女城跡市民緑地を憩いの場に 歩きにくい山道に遊歩道を整備

四日市市の内部地区にはかつて、藤原氏を祖先とする後藤家が築いた采女城があった。現在では城郭は無く、四日市市が采女城跡市民緑地として管理している。「緑地」と言えば、穏やかな景色を思い浮かべる人も多いだろうが、采女城跡市民緑地は木が生い茂った立派な山である。山道は滑りやすく、堀の名残があるため、アップダウンも激しい。城の本丸跡には、織田信長に攻められ落城した際、千奈美姫が身を投げ父の後を追ったと言い伝えられる深井戸が残るが、そこへたどり着くのも一苦労だ。

四日市中央ライオンズクラブ（佐藤正廣会長／50人）は4年前から采女城跡市民緑地の遊歩道を整備している。歩きにくい場所に桟橋をかけ、手すりを付けるなど、親しみやすい場所にするために努力を続けている。采女城跡は30年ほど前に市が管理をするようになり、采女城跡保存会が看板を付けたり、ベンチを備え付けたりと整備をしてきた。しかし、保存会の会員は高齢の方が多く、なかなか進んでいなかった。一方、四日市中央ライオンズクラブは、結成以来39年間、里山整備を続けてきた四日市少年自然の家が民間委託管理になり、断腸の思いで事業の継続を断念していたところだった。両者の思惑が一致し、クラブが遊歩道の整備をすることになった。

山道に資材を持って入り、作業をするのは大変な重労働だ。しかし、クラブではこれを年に4回も実施している。雨に降られた昨年11月と今年の2月は全員震えながらの作業となった。今回実施した5月28日は幸いにも晴れ。しかし、日光が照りつける、暑い一日だ。山道を上り下りするため、過酷な作業だが、メンバーの表情は明るい。冗談を言い合い、談笑しながら、手際良く作業を進めていく。若手も多く、年齢層はバラバラだが、上下関係がないのがクラブの特色だ。当初は作業が出来ない高齢のメンバーも現地に来ていた。危険があるため、現在は終了後に場所を移して例会をしているが、彼らの思いも一緒に作業をしている。設計や材料の手配などは建築関係のメンバーたちが行い、当日の作業を割り振っていく。当初は慣れなかったメン

●投稿要領：アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に。700字程度。写真を添付。ライオン誌ウェブマガジンのオンライン投稿か、Eメールまたは郵送で。送付先は57ページ下。

※写真に100周年ロゴが付いた活動は100周年記念奉仕事業として国際協会に報告された事業

バーも今では立派に工具を使いこなしている。限られた時間で集中して行うこの事業、土木関係のメンバーが「仕事より重労働だよ」と言うほど、足場が悪い中での作業だが、着実に成果を上げている。

クラブでは采女城跡の知名度も上げていきたいと考えており、今年の11月には結成45周年記念事業として、千奈美姫が身を投げたとされる井戸の囲い柵を整備する予定だ。四日市中央ライオンズクラブの整備がなければ、到底歩けないような山道が続く采女城跡。その功績に感謝し、保存会が看板を立ててくれた。今後もクラブでは多くの人が利用しやすいように整備を続けていく。

（取材／井原一樹　撮影／関根則夫）

336-C地区

広島県・東広島ライオンズクラブ

留学生を連れて一緒に参加する 東広島の史跡・文化財を見て歩く会

ゴールデンウィーク初日の4月29日、東広島郷土史研究会が主催する第33回東広島の史跡・文化財を見て歩く会が開催された。東広島市の中で毎回場所をローテーションしながら実施しているこの歩く会。「西高屋の歴史を巡る」と題された今回は、近年、人口が増加している西高屋地区が舞台となった。全長9㌔のコースには6カ所の関所が設けられ、受付でもらった通行手形を出せば、ハンコを押してもらえる。ゴール後に記念品と引き換えられるシステムだ。毎回、市内の奉仕団体がこの事業に協力している。

東広島ライオンズクラブ（西川里樹会長／46人）もそのうちの一つ。クラブはゴールとなる6カ所目の関所、高美が丘小学校を任されている。また、東広島ウエストライオンズクラブも1カ所目の関所、梵字岩を担当。メンバーがちょんまげ姿で、参加者を出迎えた。

東広島ライオンズクラブでは毎年、広島大学の留学生をこの歩く会に招待している。これは同クラブが独自に行っていること。日本の文化に触れる貴重な機会であり、今年も台湾からの留学生を中心に8人が参加した。留学生たちからも好評だという。

メンバーは関所でハンコを押す係と、留学生と一緒に約9㌔の道のりを歩く係と半々に分かれて活動する。体力的にもなかなか大変な事業だが、留学生たちの笑顔は何物にも代えられないものである。

関所は6カ所だが、その道中にもさまざまな史跡・文化財が点在しており、それらポイント、ポイントにはボランティアスタッフが待機し、史跡や文化財の説明をしてくれる。9㌔という範囲にこれだけの史跡や歴史的な建造物があることに驚かされる。もしかしたら、自分の町でも探せば同じくらいあるんじゃないだろうかと思わされるような企画であり、その緻密な下調べと、ボランティアの軽妙な話しぶりに、参加者は引き込まれていた。

この歩く会では参加者は自分のペースで歩ける。そのためボ

留学生と共にメンバーも参加している

ランティアは何度も同じ説明をしているのだが、熱意は変わらない。道中には道に迷わないように、たくさんの案内板が貼られている。ボランティアは話をしながら、参加者が周辺の交通の邪魔にならないよう、気を配っている。

留学生たちはメンバーと共に歩き、東広島の史跡や文化財に目を輝かせ、話を熱心に聞いていた。

クラブでは今後もこの事業に協力し、留学生たちと東広島の架け橋になるよう、努力を重ねていく予定だ。

（取材／井原一樹　撮影／関根則夫）

東広島ウエスト ライオンズクラブも扮装をして関所の一つを担当

334-D地区

石川県・金沢城北ライオンズクラブ

家族会員や女性会員に出来る奉仕アクティビティ体験会を実施

金沢城北ライオンズクラブ（永井源会長／90人）は5月7日、FWTアクティビティ体験会を開催した。これは、家族会員や女性会員に出来る奉仕の一つとして、親と離れて暮らす子どもたちと一緒に料理を作ったり、体を使ったゲームをして、普段あまり関わることのない大人との交流を体験してもらおうという企画。久野好輝334・D地区ガバナーと地区FWT委員会にお声掛けし、現FWT地区委員と次期FWT地区委員の方々にも参加して頂いた。

会場は近江町交流プラザ内の、キッチンスタジオとプレイルーム。金沢市内の児童養護施設2カ所から、21人の子どもたちが参加した。金沢市の食育推進課からは12人、当クラブの家族会員12人、女性会員2人、キャビネット地区委員17人が、10時から準備を始め、11時から13時まで、お料理作り体験と試食会を行った。メニューは、地元産のタケノコを使った若筍混ぜご飯、揚げない酢鶏、すまし汁、絹ごし豆腐のなめらかプリン。子どもたちは、切ったり、焼いたり、混ぜたり、測ったりとさまざまな料理技術を体験した。

自分で作るのは初めてという子も多く、緊張感も漂っていたが、最後は「おいしい」という声が飛び交い、奇麗に全員残さずごちそうさま。

その後、石川県レクリエーション協会の方にお手伝いをして頂きゲームを実施。子どもたちは汗だくになりながらも、「もう1回」とせがむほど楽しい時間となった。最後は全員で片付け、再会を約束した。（3ヨリジン地区FWT委員／村木峰子）

335-C地区

京都府・園部ライオンズクラブ

3年間続けたフィリピン支援事業と高校生ボランティア

園部ライオンズクラブ（船越潤会長／40人）は2015年から本年まで3年間にわたりフィリピンの貧困集落支援と日比両国の青年交流事業を実施し、現地のライオンズクラブとの交流を深めてきた。現地のマロロスライオンズクラブと共にLCIF交付金を活用して井戸を掘削し、現地の人々に利便を提供したことは、当クラブの55年間の歴史の中でも特筆すべき事業となった。

また、当クラブ地元の府立高校の生徒を現地に派遣し、生徒たち自身が調理した食事を貧困集落で配給してもらったことは、1日に1食しか口に出来ない現地の貧困の実態と貧富格差のすさまじさに触れ、日常では決して得られない達成感、使命感を味わってもらう機会となったと思う。この事業はメンバーが旅程を計画。現地の乗り合いバスや電車など庶民が利用する乗り物を使い、現地の人々と肌で接し、同じ目線で過ごした数日の体験が生徒の進路選択や将来展望に大きな影響を与えたことは、例会で体験発表してくれた彼らの言葉から読み取れた。また、現地滞在中の交流は、大いに盛り上がり、多くの友達を作ると共に、語学力向上にも大きな効果があった。15年と16年には、現地青年を招へいして再会を喜ぶ機会を作ると共に、フィリピンの若者に日本を知る機会を提供することが出来た。この他、貧困家庭の子どもが多い小学校への学用品寄贈、超マンモス高校への視聴覚機器の寄贈など、教育支援事業も継続的に実施している。贈呈式では感謝の言葉の数々を頂いた。（グローバル委員長／小泉顕雄）

334-E地区

長野白樺ライオンズクラブ

小学校建設事業から継続支援 歯ブラシと歯科衛生指導

長野白樺ライオンズクラブ（123人）は3月21日、ミャンマー南シャン州サウンウン村に歯ブラシの寄贈を行い、小児歯科の松本敏秀先生による歯科衛生指導を実施した。

2014年5月、結成40周年記念事業として長野みすずライオンズクラブの協力により、ミャンマー南シャン州のパオ族の村に小学校の新校舎建設事業を行った。人口230人で世帯の年収約3万円。電気、水道もない環境である。特定非営利活動法人地球市民の会の仲介により、村と村民が立ち上がり、LCIFの交付金を得て実現した。

その後も子どもたちのより良い教育環境のため、なわとびやサッカーボールの寄贈を行うなど、支援活動を継続している。

子どもたちの歯科衛生状態を危惧する現地の先生の要望で、昨年度からは歯ブラシの寄贈を行っている。今年度は2年目になるが、ミャンマーのヤンゴンまで歯ブラシを会員が届け、地球市民の会を通じて紹介して頂いた松本先生に現地で歯科衛生指導を行って頂いた。

当日は校長先生も参加。村の人たちも学校を大切にしてくれていることが分かり、継続して支援することの大切さを学んだ。また、ミャンマーが現在、急速に近代化しており、教育にも積極的で、熱心に取り組んでいることも併せて知った。

今回の事業は、地球市民の会、松本先生とさまざまなご縁により実現したもの。今後も口腔衛生指導等を通じ、将来安定した社会を担う自立した人材が育つように、支援を続けていきたい。

（会長／鈴木秀一）

333-A地区

新潟県・佐渡ライオンズクラブ

国際協会100周年を記念して 榧の木を22本植樹

佐渡ライオンズクラブ（岩崎隆寿会長／44人）は4月19日、国際協会創立100周年記念事業として佐渡市の赤泊地区城の山公園内に榧（かや）の木22本を植樹した。

榧は旧赤泊村の村の木に選定されていたが、近年、その数が減少している。成木となるには100年以上かかるとも言われ、その特有の香気と美しい木目などから囲碁や将棋の盤材として賞用されている。島内でも古くから木材や果実が身近に利用され、日本の文化を伝える貴重な存在であることから、100周年記念事業にふさわしいと考え今回の植樹を決めた。

ちなみに、島内に現存している榧の木で一番大きく、そして樹齢の最も古いものは、赤泊徳和地区の大椋（おおくら）神社の境内にあるもので、幹の根回りが4・9メートル、樹高が30メートル、樹齢600年以上と言われている雄木で、佐渡市の文化財（天然記念物）に指定されている。榧の木は雌雄一対でないと実をつけないことから、近隣には雄木に引けをとらないほどの大きさの雌木があり、その実は赤泊地区の特産品となっている。

植樹に当たってはメンバーが事前に一日掛かりで公園内の雑木の伐採と整備・清掃を行った。式で岩崎会長は「次世代に引き継ぐ思いを込めて植樹しました。これからの100年に向けて活動を広げたい」と述べた。

メンバーは「これまでの100年、これからの100年」を合言葉に、榧の成長に負けないよう、地域に密着した地道な奉仕活動を継続していこうと気持ちを新たにした。

（幹事／渡辺雅春）

336-B地区

岡山県・津山鶴山ライオンズクラブ

支部結成と、支部に負けず カクテル・パーティーで資金獲得

「支部はクラブの宝物！」

本年度336・B地区主催のクラブ支部合同ミーティングでの広瀬和紀キャビネット幹事のスピーチである。この中でライオン広瀬は支部の三つのパワーとして行動力、発想力、人脈力を挙げた。

ライオン広瀬の所属する岡山ライオンズクラブでは支部会員が20人に達し、既に2人が正会員に移っている。また、大谷博ガバナーの英断で、支部会員を地区広報委員長にも選出している。

津山鶴山ライオンズクラブ（早瀬浩之会長／43人）でも支部を結成することにしたが、当初は「何で支部を作るのか？」という疑問の声も上がった。だが、実際に取り組んでみると、現実味を帯びた有効なプログラムだと実感することも多く、クラブ全体がまとまった。こうなると未来は明るい。こうして結成した平成支部7人は資金獲得の中心メンバーだ。奉仕活動の財源は広告・各種イベントの入場券販売等によって調達している。

当クラブでも花火大会の出店などによって、ライオンズのPRと共に、資金を獲得している。

支部に負けず、3月12日には津山のバーテンダーの作るカクテルを楽しめるカクテル・パーティーを開催。この収益は津山市教育委員会にパソコン一式の寄贈という形で使用した。

クラブ支部結成には、地区ガバナーとゾーン内のクラブに一報を入れ、親クラブ内で会員増強委員会を作る必要がある。「クラブ支部ガイド」を各クラブに合ったようにアレンジし、支部の結成に挑戦してみてはいかがだろうか。

（元地区ガバナー／森岡秀行）

336-D地区

島根県・東出雲ライオンズクラブ

溢れる想い、天国に届け 天国への手紙を募集

黄泉比良坂（よもつひらさか）をご存じだろうか。『古事記』に二度登場し、島根県松江市東出雲町の山林に所在する神蹟地で「あの世とこの世の境界」と考えられている場所である。現在もなお、先立たれた大切な人へ思いを伝えにこの地を訪れる方が多くいる。そこで東出雲ライオンズクラブ（63人）ではその思いを受け止め、手紙に書くことにより、傷心を少しでも癒やして頂きたいと「天国への手紙」の募集を行った。

応募書式は自由。思いを書いて頂いた手紙を「天国への手紙宛」と明記の上お送り頂くか、黄泉比良坂にある「天国への手紙ポスト」へ直接投函して頂いたものを奉納する。封筒に開封希望とあるお手紙は開封して奉納する。もちろん応募資格は問わない。

新規の事業ということもあり準備に多くの期間を要し、一時は計画見合わせも視野に入れるほどだったが、会員の努力と黄泉比良坂神蹟保存会の皆様の心温かいご協力で、難しい局面を乗り切ることが出来た。

地元紙『山陰中央新報』の記事に掲載されるなど、多くの方にこの事業を知って頂けたと思う。チラシやポスターの作成に加え、フェイスブックなどのSNS、ホームページを活用した広域的な周知も行った。

お送り頂いたお手紙は6月に、黄泉比良坂にて御焚上を行って奉納。天国へ旅立った大切な方へあふれる思いをお届けした。

この事業にご協力頂いた皆様に深く感謝すると共に、手紙をお送り頂いた皆様の心の癒やしになっていれば幸いだ。

（会長／森山建二）

山口県・光ライオンズクラブ

汗をかいてウィ・サーブ 松の植樹を継続中

山口県光市には、瀬戸内海国立公園に位置する虹ケ浜海水浴場と室積海水浴場がある。虹ケ浜海水浴場は約2・4キロ、室積海水浴場は約5キロに及ぶ白砂青松の海岸で、環境省による「快水浴場百選」や「日本の白砂青松百選」、「日本の名松100選」などに選ばれている。

これらの貴重な自然を保護することを目的に、光ライオンズクラブ（清神行宏会長／53人）では、2008年に認証45周年記念事業として虹ケ浜海岸に約500本のクロマツを植樹。その後も毎年補植をしている。

植樹の際は深さ30センチの穴を掘り、約40センチの苗木を1メートル間隔で植えて木炭を混ぜた真砂土をかける。クロマツは順調にいけば10年で4、5メートルに育つ。今年度は2月16日に、会長スローガン「汗かいてウィ・サーブ」の通り、みんなで汗をかいて50本の松の補植と過去に植えた松の間伐を行った。当日は前日まで降り続いていた雨も止み、快晴の中作業を行った。

5月27日には、東日本大震災で被災した岩手県陸前高田市で「高田松原再生記念植樹会」が開催された。「日本の渚百選」に選ばれた地の自治体で作る、日本の森・滝・渚全国協議会の会長を市川熙光市長がしていることもあり、当クラブは高田松原再生にも資金提供等で協力している。防潮堤の工事が行われたこともあり、完全に元の状態にとはいかないが、光市の虹ケ浜・室積海岸同様、早く陸前高田市の松が立派に再生することを願っている。

（マーケティング・コミュニケーション委員長／清水敏昭）

332-B地区

岩手県・胆沢岩手ライオンズクラブ

統合された新中学校と共に歩む 桜の植樹を実施

5月1日、岩手県南部にある奥州市胆沢区を中心に活動している胆沢岩手ライオンズクラブ（22人）は奥州市立胆沢中学校（関向正俊校長／生徒428人）に桜の苗木を植樹した。

胆沢中学校は胆沢区の南都田に4月に開校したばかりの新しい学校だ。同校が末永く歴史を刻んでいくよう願っての実施である。

今回の事業は、「国際地球環境デー」にちなんだアクティビイティとして実施した。

当日は、午後からクラブのメンバー12人と生徒22人が参加。胆沢中学校の野球場南側を植樹場所にして、2メートルほどに育ったソメイヨシノの苗木20本を植樹。子どもたちも共に土をかけ、水をやった。

この胆沢中学校は、小山中学校、南都田中学校、若柳中学校の3校が統合されて開校した学校だ。

統合前の学校にはそれぞれ、多くの桜が学校を取り囲むように植えられており、生徒を見守っていた。しかし、この新たな学校には桜がなかったため、当クラブで植樹を提案。今回の実現となった。

参加した生徒たちは、「学校生活は何もかもが新しい、桜がまた学校のシンボルになって私たちを見守ってほしい」と語り、思い思いの願いを込めて木を植えていた。

当クラブでは、今回、植樹したソメイヨシノの苗木が胆沢中学校の歴史と共に育っていき、子どもたちもこの木々に負けずにがんばって大きく育ってほしいと期待を込めている。

（会長／渡辺忠）

LIONS ON LOCATION

アメリカ／マサチューセッツ州マールボロ ライオンズクラブ

パパとダンス

　アメリカ・マサチューセッツ州マールボロの人々は、「その日」を楽しみにして靴慣らしに精を出す。その日とは、マールボロ ライオンズクラブが20年間にわたり毎年開催している、父娘ダンス大会だ。

「女の子はダンスが大好きなんだ。もちろんパパさんたちも楽しんでいるよ」

とライオンバーニー・カイマン。

　ダンスフロアーに躍り出るパパと娘たち。そこには心温まる瞬間が生まれる。一方ライオンズ・メンバーは、のどが渇いたダンサーたちに飲み物を配るのに大忙しだ。

　初めて父娘ダンス大会を開催した1996年には、メンバーたちは音楽が始まる前からいやな汗をにじませていた。はりきって飾りつけをして、たくさんのジュースやクッキーを用意したのに、チケットが50枚しか売れていなかったのだ。着ぐるみのライオンは小さなダンサーたちに怖がられてしまい、檻に退散した。土壇場になってようやく、更に100人のダンサーたちがフロアに登場。ダンス大会の体裁が保たれたのだった。

　それが今や毎年600人以上の父娘が参加する大イベントになった。近年のライオンたちの心配事と言えば、会場のマールボロ高校のカフェテリアでは収容しきれなくなることだ。

「女の子たちに人気なのは子ども向けのポップ・ミュージックでね。僕らの時代のやつはイマイチ。エアロスミスとか、レッド・ツェッペリンはダメなんだよ。でもそれも含めて、みんな心から楽しんでいるよ」

とライオンマーク・ギブズ。

　娘と踊るお父さんたちは疲れ知らずだ。ライオンたちだって、疲れてなんかいられない。

LIONS ON LOCATION

スイス／バル・ミュスタイア、ツィンメルベルク ライオンズクラブ

世界遺産の絵画修復を支援

スイス・グラウビュンデン州の州都ミュスタイアにあるザンクト・ヨハン修道院（聖ヨハネ修道院）は、5～10世紀に西ヨーロッパを支配したフランク王国の国王カール大帝（在位768～814年）によって8世紀に建てられたと言われる。極めて良好な状態で現存するカロリング様式の建築物で、1983年にユネスコの世界遺産に登録された。地元のバル・ミュスタイアとツィンメルベルク両ライオンズクラブは30年間にわたり、この修道院にある宗教画を題材にしたクリスマスカードを作成し、人気を博している。

今年のカードには、修道院の守護聖人でもある洗礼者ヨハネがイエス・キリストの元へ弟子を遣わす場面が描かれた。カードの制作者は画家で医師のライオン ロルフ・ガッシュマンだ。

「彼の絵は実際の壁画よりも色彩豊かなんですよ」

とツィンメルベルク ライオンズクラブのライオン ウォルター・アンドリューは言う。

聖堂の内部は、旧約聖書と新約聖書に基づく82の場面を描いたフレスコ画で覆われている。これら修道院と聖堂にある絵画にはクリーニングや修復が施され、ライオンズはこれをサポートしている。クリスマスカード販売から得た収益もこれに役立てられる。

イタリア国境からわずか1キロほどの小さな村にあるザンクト・ヨハン修道院は、創建時の姿を残すカロリング様式の建造物と、ロマネスク様式のフレスコ画により、スイスの中でも最も重要な文化財の一つに数えられている。

LIONS ON LOCATION

ポルトガル

森林保全を通じた環境保護活動

ポルトガルの中部に位置するロウザンは、自然豊かなのんびりした町だ。周囲には石造りの村が点在し、山間にロウザン城がたたずみ、何より緑濃い森がすばらしい。しかし近年この森で、何千本もの松の木が病気で枯れてしまうという事態が発生している。

これに対処するために、ユナイテッド・フォレストという環境保全団体が、一般市民を巻き込んだ大規模な植樹イベントを企画。気持ちの良い秋の日、ライオンズ・メンバーも約100人が参加し、6千人のボランティアと一緒に4万5千本の苗木を植樹した。

この環境保護活動では植樹だけでなく、侵略的な植物や種子の駆除も実施した。侵略的植物とは、外来種など元来そこには無かった植物で、急激に繁殖し在来種の駆逐や交雑が進むことから、本来の生態系を脅かすものである。この日、ライオンズを始めとするボランティアが作業した面積は、15ヘクタールにも及んだ。

ユナイテッド・フォレストは農林水産省の支援を受けて、30年間で4億本の植樹を目指している。この取り組みが始まったのは2007年。事業の目的は、森林の再生を通じてあるべき生態系を回復させ維持すること。枯れた木に代わり健康な森を育てることで森林火災を防止すること。これらの取り組みにおいて、地域の自然環境や生物多様性に大きな影響を与える侵略的な植物や害虫の防除を進めることを目的としている。これまで07年からの10年間で植えられた木の本数は、1億5千万本を超えている。

特集：国際協会100周年Ⅱ

奉仕の歴史100年を奉仕で祝う

ライオンズクラブ創設100周年のテーマは「ニーズがあるところに、ライオンズがいる」。過去100年間にわたって地域そして世界の人々のために奉仕し続けてきた歩みを奉仕によって祝福しようと、各地でさまざまなニーズに応えた奉仕事業が行われている。今年度、複合地区・地区が実施した100周年記念奉仕事業のリポートを集めた。

●332複合地区（東北6県）

震災支援への感謝を込めて途上国への教育支援

332複合地区（青森県・岩手県・宮城県・福島県・山形県・秋田県）の100周年記念レガシー・プロジェクトとして進めてきたカンボジア・テクレク中学校が完成し、4月2日に落成式を迎えた。式には地区ガバナー6人を始め複合地区内の会員46人が出席し、現地の子どもたちと新校舎落成の喜びを分かち合った。

東日本大震災で特に甚大な被害を受けた岩手、宮城、福島の3県を含む当複合地区は、世界中から多大な支援を頂いた。あの日から6年が過ぎてなお復興は道半ばではあるが、支援に対する感謝の気持ちを奉仕によって示したいと、昨年度から検討を開始した。そして、世界に発信する最良の方法は未来を築く子どもたちへの支援であると考え、カンボジアとラオスでの学校建設事業を計画。昨年の複合地区年次大会に共同事業を提案して賛同を得、複合地区内の全メンバーから協力金を集め、現地視察を経てプロジェクトを始動した。

カンボジアでは、アンコールワットのあるシェムリアップから車で約2時間のスワイルー郡テクレク村に中学校を建設することとした。現地の方の話によれば、カンボジアでは中学校の校舎が足らず、教師や教材も不足している。また、経済的な理由で子どもを中学校へ通わせることが出来る家庭はいまだに少ないとのことだった。今回のプロジェクトは、立案から落成までシェムリアップ・アンコールワット ライオンズクラブのサポートを頂き、またLCIFの交付金を受けて実現することが出来た。建設したのは5教室の校舎1棟とトイレ、ソーラー式井戸で、その他に文房具や教材を寄贈した。落成式典の会場では子どもたちや先生方など千人が出迎えてくれ、日本大使館の鴨志田尚昭参事官の立ち会いの下で

書類を取り交わし、最後にシェムリアップ知事が施設の使用許可を下して、晴れて落成となった。

我々を拍手で歓迎してくれた子どもたちの期待と希望に胸ふくらませた笑顔が、帰国した今も忘れられない。

（複合地区議長／柳本英洋）

●330・C地区（埼玉県）

薬物乱用防止を促進するチャリティー・イベント

ライオンズクラブ100周年を記念する330・C地区事業として、薬物乱用防止のためのチャリティー・イベントを開催した。

青少年の薬物汚染は大きな社会問題となり、その薬物の魔の手から子どもたちを守らなくてはならない。そのために地区内の多くのクラブが、地域の学校での薬物乱用防止教室等に取り組んでいる。そこで、薬物乱用「ダメ。ゼッタイ。」を合言葉にして子どもたちに自ら薬物を拒む力を育てる事業の支援に、イベントのチケット収益を役立てることとした。

イベントは2月20日に大宮ソニックシティ大ホールで開催。プログラムは4部構成で、大人から子どもまで楽しんで頂ける内容とした。三遊亭歌之介の落語を中心としたお笑い、

プロの劇団による薬物乱用防止演劇「家族~OVER AGAIN」の上演、歌手による歌謡ショー、そしておりも政夫の「うたごえ広場」という構成で、非常に盛りだくさんの内容となった。中でもメインステージのうたごえ広場では、タイトルの通り観客の皆さんが一つになって歌い、大いに盛り上がった。会場には1500人を超す来場者の熱気があふれ、笑いと歌で楽しい時間を過ごして頂いた。それと同時に、薬物乱用の危険性を訴えることも出来た。チケット販売による収益約95万円は、公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターへの寄付と、地区内クラブの薬物乱用防止事業の支援に充てた。

現在、厚生労働省・各都道府県・関係団体が連携して、危険ドラッグなどの薬物乱用防止対策に取り組んでいる。ライオンズによる薬物乱用防止事業は地域の学校で必要とされており、クラブにとっても規模に関係なく実施出来る事業である。今後も地区として力を入れていきたい。（地区ガバナー／濱野雅司）

●331-C地区（北海道道南）
生活の向上を助ける眼鏡リサイクル

331-C地区では今年度、昨年度まで毎年継続してきた中古眼鏡の回収事業をいったん見合わせることにした。これまでは地区内で集まった中古眼鏡をオーストラリアの眼鏡リサイクル・センターに送っていた。しかし、受け取った人に笑顔はあるのか、生活は変わったのか、本当に喜んでもらえる価値ある事業なのか、結果が全く見えなかったことが、休止を決めた理由である。

世界各地にある眼鏡リサイクル・センターがアジアには一カ所もないという現状の中、何とか日本に開設することは出来ないか？ 当地区の本所光男ガバナーと共通の問題意識を持つ332-C地区（宮城県）の岩本政郁ガバナーのリーダーシップにより、今年度に入って仙台の地にリサイクル・センター設置の動きが持ち上がった。これを受けて12月、本所ガバナーの号令により地区内51クラブに中古眼鏡回収の案内を送付。100周年記念奉仕事業と位置づけて中古眼鏡回収を再スタートした。2月末日の締切後、集計作業のためにキャビネット事務局に集まってびっくり。回収期間は2カ月余りだったが、各クラブから寄せられた段ボールが山と積まれていた。担当委員ら21人で2時間余りを要した集計作業の結果は、段ボール大が9箱、小2箱という成果となった。一致団結して取り組むライオンズのパワーを改めて感じた瞬間だった。

眼鏡により視力を得ることで、子どもたちはより良く学び、健全な成長が出来る。また、大人たちは雇用の機会が増大し、経済力が向上する。更に、高齢者は他人への依存を減らすことが出来る。このような尊い奉仕活動に携われることに誇りを持ち、今後も末長い継続事業となるよう取り組んでいきたい。（地区環境保全・社会福祉委員会委員長／泉謙之）

●332-B地区（岩手県）
未来への希望を胸に木を植える

332-B地区ではこれから始まる次の100年を前に、未来に向かう奉仕の意思表示として植樹を行うよう地区内クラブに呼び掛けた。クラブには植樹の助成金として1万円を支給。各クラブが手入れしやすい場所

に植えて、100年後のメンバー、市民の方々に愛される木に育てるようお願いした。

陸中山田ライオンズクラブでは5月28日、東日本大震災で被災した山田町に復活した船越公園で、友好クラブや町民と共に桜の植樹を行った（写真）。同クラブは震災以降、青森県・弘前東奥、岩手県・北上国見、江釣子各ライオンズクラブの支援を受けており、これらのクラブから町内に植樹をしたいとの希望が出ていた。これまで土地整備に時間が掛かり保留になっていたが、公園の完成により町から植樹の許可が下りた。当日は陸中山田ライオンズクラブが用意したソメイヨシノ100本に、支援する3クラブや地元団体などからの寄贈分を含めた計500本の苗木を植えた。

昨年11月26日には、津波によって13人の仲間を失った陸前高田ライオンズクラブが、地区が建立した鎮魂の灯「友愛」が立つライオンズの森に植樹した。植えたのはベニヤマボウシ1本とシロヤマボウシ2本で、鹿の食害を防止するため金網も設置した。ヤマボウシの花言葉は「友情」。メンバーはこのヤマボウシが亡くなった方々と共に、復興されていく故郷を見守ってくれるよう祈りながら植樹を行った。（地区幹事／鈴木雅彦）

332・C地区（宮城県）

日本初の眼鏡リサイクルセンター開設

100周年レガシー・プロジェクトの一環として、332・C地区は眼鏡リサイクルセンターを立ち上げた。今後実績を作って、アジア初の国際協会公認センターを目指す。今まで、国内にはリサイクルする場所がなかったため、海外のセンターへ発送する際に眼鏡の数によっては数十万円もの高額な送料を支払っていた。そのセンターから眼鏡を必要とする支援先へと送るため、全体で見ると高額な送料が二重に発生していることになる。そこで、日本国内で眼鏡をリサイクルして送料を節約した上、障害者就労支援を行うことを目的に、リサイクルセンターを設立した。

特徴としては、一箇所にセンターの施設を作るのではなく、ライオンズ中心の特定非営利活動法人日本アイグラスリサイクリングセンターを中心に、リサイクル作業は障害者就労支援事業所に委託する。作業費は回収したクラブに眼鏡一つにつき50円（現在の試算による）の支援金を寄付して頂くことで賄う。これにより海外への送料に比べて安価でリサイクルが出来、集まった眼鏡の数に応じて委託先を増やしたり、他地区に拡大することも可能となる。

リサイクルされた眼鏡は、貧困や設備の不足により眼科医療を十分に受けられない国で治療を行う日本眼科国際医療協力会議（JICO）とその提携団体による支援事業に提供し、活用してもらう予定だ。

センターの立ち上げに当たってはLCIF交付金1万2千ドルを受けてレンズチェッカーや眼鏡洗浄機、パソコンなどの備品を購入。今年5月

31日から、地区の公募に応じた事業所でリサイクルがスタートした。日本で廃棄される眼鏡は1年間で50万個と言われており、その5分の1の10万個の再生を目標に活動していく。

（地区ガバナー／岩本政郁）

332・F地区（秋田県）

アジア3カ国の孤児へ届けた食料支援

貧富の差の激しい東南アジアの国々では、劣悪な環境で十分な食事も取れずに路上生活をしたり、育児放棄されて孤児院での生活を余儀なくされている子どもたちが大勢いる。

今年度、332複合地区はカンボジアとラオスに学校を建設する合同100周年記念事業を行い、アジアの子どもたちに夢と希望を届けた。これに加え、当地区の提案したアジアの国々の子どもたちへの食料支援にも複合地区内各地区の協力を頂き、タイ・フィリピン・カンボジアの孤児ら1万人に食料を届ける支援活動を実施することが出来た。支援したのはタイ・アユタヤで2400人の孤児が暮らす世界最大規模の孤児院ワットサケオ、フィリピン・マニラにある児童路上生活者保護施設のサルネリ・センター、女子修道院グッドシェパードが運営する乳幼児保護施設など4施設、それに332複合地区が中学校を建設したカンボジア・テクレク村の子どもたちで、合計米12㌧、ミルク、菓子の食料の他、おむつ、せっけんなどの日用品を寄贈した。

アジアに、世界に、日本に、我々ライオンズを待っている人々は大勢いる。ライオンズのロゴが、輝ける過去を見つめ、未来のあらゆる奉仕活動に目を向けているように、次の100年も、ウィ・サーブを継続していきたい。

（地区ガバナー／菅卓司）

333・B地区（栃木県）

「絆のたね」が咲かせた大輪のヒマワリ

ライオンズクラブ100周年の本番を迎えた今年度、これを記念して地区内各クラブがそれぞれの街に大輪のヒマワリの花を咲かせようと皆の意見がまとまった。ヒマワリの花で、明るい街が更に明るくなるようにとの願いを込めて実施した。

昨年7月、地区内49クラブに夏まき秋咲きのヒマワリの種をそれぞれ100粒ずつ配布。各クラブが独自のアイデアで青少年育成や環境保全などの奉仕事業として育て、秋に花を咲かせるまでの経過をメールで送ってもらいたい旨を伝えた。

今回配布したヒマワリの種には、ストーリーがある。95年1月17日の阪神淡路大震災で亡くなったはるかちゃんの家の庭から採取されたヒマワリの種が、巡りめぐって宮城県石巻市の門脇小学校にあった。東日本大震災の後、門脇小学校にあったそ

の種を県警の方が持ち帰って育て、安心安全な街づくりへの願いを込めて毎年種を採っていたのだ。

このヒマワリの種が、これからは「絆のたね」として多くの人たちにリレーされ、この物語が語り継がれるようにと、333・B地区においては継続アクティビティとして続けていきたいと思う。（地区100周年コーディネーター／青木重雄）

333・C地区（千葉県）
子どもたちに美しい松林を残したい

333・C地区は100周年レガシー・プロジェクトとして環境問題を取り上げ、千葉県全体で深刻化している松枯れ問題にテーマを絞って取り組んだ。

千葉県の海岸線には、古より美しい松林があり、九十九里海岸など五つの海岸が「日本の白砂青松100選」に選ばれている。しかし特に県南においては、ここ10年で美しい松林が無残にも消滅してしまった。

プロジェクトは第1部で海岸での植栽、第2部では全国的にも大きな問題となっている松枯れの原因やその対策の勉強会とした。

第1部は3月5日、館山市平砂浦海岸に松を中心とした664本の苗木の植栽を行った。会員の他、地域の子どもから大人まで120人以上が参加し、地元新聞にも大きく報道された。好天に恵まれ、参加した子どもたちは汗だくになりながら夢中で植栽をしてくれた。

「大変かな?」と声を掛けると、「すごく面白い。どのくらい大きくなるか何回も見に来てみる」と目を輝かせて答えてくれた。

この子たちの未来と、豊かに広がる松の景勝を夢見て、私たちも感激の気持ちを新たにした。

第2部は4月2日、大多喜町公民館で環境フォーラムを開催し、松枯れ研究の第一人者である二井一禎京都大学名誉教授による講演会を実施。県内外から約100人の聴衆が集まった。松枯れの実態と対策、将来に向けての展望が語られ、人々の環境保護への認識を喚起する、有意義なフォーラムとなった。

聴衆からは、「私たち一人ひとりが環境に対する認識を持って行動することの意義を深く認識させられるフォーラムであった」などの感想が寄せられた。

（地区福祉・環境保全委員長／石井透山）

334・E地区（長野県）
国境を超えた医療奉仕と友情

334・E地区とフィリピンの301・D2地区のライオンズクラブは、1977年から40年以上の長きにわたり42回の合同医療奉仕活動を継続している。今年度は当地区が誇るこの医療奉仕を、100周年記念事業として実施した。

この事業はLCIF国際援助交付金を受けて、毎年2月に2日間にわたり、マニラ周辺の無医村地区4カ所の会場で実施している。地区内の会員や医療関係者ら180人ほどが参加し、約1万人の患者に対して、内科・眼科・歯科の無償診療や、医

薬品、タオル、歯ブラシ、せっけん、眼鏡の配布を行う。これまで、大統領交代に伴う政治的変動や参加医師の不足など、さまざまな困難を乗り越えて継続してきた。それが高く評価され、06年のボストン国際大会では最高位のアカデミー賞を受賞。12年にはLCIF国際理事長賞、フィリピン政府からフィリピン社会福祉開発庁賞を受賞した。

　ここ数年は、特に301・D2地区メンバーの熱心な協力態勢により、奉仕活動が今まで以上に質の高いものになってきており、この活動を通して真の国際交流が行われ、国境を超えた強い友情が育っている。

「アジアの病人」とまで言われていたフィリピンが、健全な経済発展に足掛かりをつけた近年、マニラ近郊の変化には目を見張るものがある。しかし、貧富の差の中で十分な医療行為を受けられない人々は今も大勢いる。第二次世界大戦の恩讐を乗り越え日本で初めてのライオンズクラブをスポンサーしてくれたフィリピンの人々に、我々日本のライオンズクラブの出来ることはまだまだあると感じている。メンバー間の相互理解をより一層深めながら、この貴重な奉仕活動を続けていきたい。（地区国際関係・LCIF委員長／恩田弘志）

●335・B地区（大阪府・和歌山県）
津波から幼い命を守るライフジャケット

　東日本大震災でのあの痛ましい津波の被害を決して繰り返してはならない！

　今後30年以内に70％の確率で起こると想定されている南海トラフ巨大地震。その際に発生する大津波から子どもたちの命を守ろうとの思いから、335・B地区では100周年記念奉仕事業として、昨年度から2年間にわたりライフジャケットの寄贈事業を実施した。対象は特に津波の被害が大きいと想定される和歌山県下の地域で、昨年度は幼稚園や保育所に対して1885着を寄贈。引き続いて今年度は小学校と中学校に対し1536着、合計3421着のライフジャケットを贈った。

　このプロジェクトは地区内全クラブの協力の下に成し得た事業である。「子どもの命を守ろう」と銘打った津波から逃げ切るための支援対策プログラムを仁坂吉伸和歌山県知事に持ち掛け、県の危機管理局や教育庁の担当者との綿密な打ち合わせを重ねながら、行政とライオンズクラブとの協力関係、信頼関係を構築することで実現した。

　数回に分けて行った贈呈式においては、参加したクラブ・メンバーが子どもたち一人ひとりに直接ライフジャケットの着用方法を教えながら触れ合いの時間を楽しみ、改めて奉仕の意義と喜びを実感した。

　また、この事業に対するメディアの取材も数多くあり、最後の贈呈式直後の「世界津波の日」には、早速

ライオンズのロゴが入った真新しいライフジャケットを着て避難訓練をする子どもたちの様子が度々テレビのニュースで放映された。それを目にした時、このプロジェクトをやって本当に良かった！と感動を覚えたのは私だけではないだろう。

世界有数の自然災害大国である日本において、これからも災害発生時の支援活動はもちろんのこと、平時から防災や減災の分野でも大いに貢献出来るライオンズクラブでありたい。（地区アラート委員長／坂本惠市）

● 336・B地区（岡山県・鳥取県）

地区内一斉クリーンアップ大作戦

ライオンズクラブ創設からの100年は長い年月だが、少なからずそのうちの何年かは自分もメンバーであり、蓄積ということの重要性を身に染みて感じざるを得ない。

この100周年という機会を黙って見過ごすわけにはいかないと誰もが思いながら、なかなか名案が見付からずヤキモキしていたが、そこは我らが大谷博地区ガバナー、「みんなで何かやろう！」と言い出した。

ガバナー所属の岡山ライオンズクラブは、ちょうど60年前、第40回サンフランシスコ国際大会で302地区ガバナー（当時日本は一つの地区だった）としてライオン原勝巳を輩出したクラブである。この原ガバナー時代に献眼登録が始まり、「ライオンズクラブの歌」が歌われ始めたのである。

そんな血を引いてか（？）大谷ガバナーから「全クラブの全会員で、一斉に地元地域の清掃活動を行う。同じ日の同じ時刻から、岡山・鳥取の全メンバーが一斉に清掃を始める」という妙案が出された。

早速、地区を元気にするのが役目のGLTが、この活動を「100周年記念336・B地区クリーンアップ大作戦」と名付け、第2回キャビネット会議に提案、承認され、報道機関にもその趣旨をくまなく伝達した。

実行日は17年1月22日と計画したが、前々日の20日は日本中を大寒波が襲い、中でも西日本の日本海側は大雪に見舞われてしまった。しかし、その1週間前の第3回キャビネット会議では、大雪の日とそうでない日の2案の作戦地図が提示されており、何としてでも実行に結び付けようと準備万端で、誰もがこの作戦の成功を確信していた。

そして迎えた当日は両県とも快晴。クリーンアップ大作戦は見事成功裏に終了した。その終了と同時に、山陰地方に再び大雪が降り積もったことを付け加えておきたい。（地区GLTコーディネーター／榎本明）

336・C地区（広島県）
ライオンズと盲導犬の行進で市民に奉仕をアピール

ゴールデンウィーク真っただ中の5月3日、広島市中心部を東西に横断する平和大通りで開催された2017ひろしまフラワーフェスティバルの「花の総合パレード」で、安田克樹地区ガバナーを始めライオンズ260人と盲導犬8頭が堂々の行進を披露した。今年で41回を数えるフェスティバルは広島と世界を結ぶ平和の花の祭典で、約160万人の観客でにぎわう国内有数の規模の大イベントだ。

パレード参加はライオンズクラブ創設100周年を祝う行事の一環として計画し、広島市域の26クラブが中心となって準備した。大きな節目を会員同士で祝うことも意義深いが、ライオンズクラブの日頃の奉仕活動を広く県民に周知する絶好の機会だと確信したことが、このパレード参加の発想へとつながった。

パレードは市内の小学校2校のマーチングバンドを先頭に、2台の花装飾車の間にはさまれて、地区内ほぼ全域の会員と薬物乱用防止大学生認定講師7人、更には盲導犬8頭と訓練士、着ぐるみ「けんけつちゃん」など、支援団体も加わって行進。ライオンズの代表的奉仕活動のパフォーマンスを交じえながら、1・2キロ、約40分のパレードを無事終えた。

なお、今回の記念パレード祝賀行事を挙行した証しとして、6月末に県立大学に木彫像を建立、広島中央公園に桜を植樹し、それぞれ贈呈式を実施する。（地区ライオンズ創設100周年準備部会長／久保行夫）

337・D地区（鹿児島県・沖縄県）
未来のために ライオンズ子ども食堂

10月8日のライオンズ奉仕デーに合わせて、鹿児島リジョン共同の100周年記念事業の実施が発案されたのは、16年7月のゾーン・チェアパーソン懇談会でのことだった。「ライオンズこども食堂」として多くの市民に参加を呼び掛け、鹿児島市中心を流れる甲突川河畔のライオンズ広場で行うことが決定された。

わずか3カ月の準備期間だったが、まず教育現場を訪ねて現状を認識し、子どもたちのためにライオンズが何を出来るのか、多くの議論を積み重ねた。その中で、この活動を啓発的な取り組みとするため、多くのメンバーがたくさんの知恵を出し合った。更に、多くのメンバーが食材や調理機材、テントや椅子を提供し、その他にもお菓子やおもちゃ、衣類を集めて、当日参加した子どもたちを大いに喜ばせた。提供する食事の調理は、クラブ支部の女性メンバーが中心となって担当し、子ども向けイベントはレオクラブが担当。鹿児島リジョン全体が手をつないで、すばらしい記念アクティビティを成功させることが出来た。

この日は沖縄リジョンにおいても、100周年記念事業として、県下一斉に清掃活動を実施する21クラブ合同クリーンアップ大会が実施された。

今回の記念事業によって、参加した会員は100周年のこの時にライオンズクラブに在籍していることを誇りとし、奉仕することが出来たと思う。一つひとつのクラブが地元と

密着して行うアクティビティはそれぞれすばらしいものであるが、そのような思いが結集すると、更に多くの人々に影響を与える事業が出来ると改めて心に刻んだ。多くの子どもたちの夢のある未来のために、この集まった力を100周年を機に今以上にどのように活用するかについて思考を高めていき、今後に続く継続性のある支援を作り上げていきたい。

（ゾーン・チェアパーソン／本田洋）

●337・E地区（熊本県）

熊本を元気づけた光の祭典

2016年4月14日に最大震度7の前震、16日には震度7弱の本震と、熊本は二度の大地震に見舞われ、私も2週間ほど車内泊を余儀なくされた。更に6月には集中豪雨、10月には阿蘇山の大噴火と、かつて経験したことがない事態が半年の間に相次ぎ、心が折れそうなほどだった。

そこで熊本の人々の心を少しでも癒やすことが出来ればと、「くまもと復光祭」と銘打って、熊本の青年会議所、ライオンズクラブ、ロータリークラブの3団体が一つになった合同アクティビティを計画した。事業資金として各団体が500万円ずつ負担し、運営の労力奉仕は青年会議所とライオンズが担うこととした。

復光祭の開催日は11月20日、会場は熊本市内を流れる白川河川敷とし、白川を天の川に見立てた「いのり星放流」とステージ・イベント、そしてオールくまもとフードコーナーの三つのテーマで催しを展開した。

「いのり星放流」では、人々の願いや祈りを込めたLEDを光源とする光の玉約3万個を放流。600㍍にわたって川面を埋めた青い光と、夜空を彩る花火が出現させた幻想的な情景に、約2万人が酔いしれた。

ステージイベントは二胡奏者チェンミン氏による生演奏や、九州発の3人組ヒップホップグループ、餓鬼レンジャーのスペシャル・ライブ、地元高校生によるダンスと吹奏楽に加えて、メジャーリーグのシカゴ・カブス所属（当時）の川崎宗則選手が登場。ご存じくまモンも加わって大いに会場を盛り上げてくれた。

「オールくまもと」をテーマとしたフード・コーナーには熊本県内の飲食店が大集合。いずれの店舗も大繁盛となり、参加した27店舗の皆さんに大変喜んで頂いた。

（地区100周年記念コーディネーター・元複合地区議長／椿幸雄）

2017-18年度
地区ガバナー紹介

第100回シカゴ国際大会で地区ガバナーに就任される各地区ガバナー・エレクトの皆さんに、新年度に向けての抱負、方針、重点目標などについて原稿を頂いた。

略歴①所属クラブ②ライオンズクラブ入会年③副地区ガバナー立候補要件のうち最上位の役職④職業⑤趣味⑥就任時の年齢

District 330-C　田中　明

たなか　あきら①埼玉県・和光ライオンズクラブ②95年③04年度キャビネット幹事④㈱宝優取締役⑤ゴルフ、ラグビー、川の小物釣り⑥66歳

多くの先人の夢と誇り、ウィ・サーブの心、脈々と引き継がれてきたライオニズム。それが新たなる世紀でも更に凛然と輝くべく「明日のための今日を楽しみ、楽しくなければライオンズではない」を自己の念として、スローガンを「繋げよう　未来に続く　奉仕の“わ”」としました。会員相互の“和”、人や地域や社会とつながりの“輪”、融和、平和の“わ”と、思いを込めています。奉仕の形は違えど心に在るのはWe Serveの精神。温故知新を共に考え、全メンバーが心一つに協働していくよう地区運営に努力したいと思います。

District 330-A　細川　孝雄

ほそかわ　たかお①東京赤坂ライオンズクラブ②89年③12年度キャビネット会計④細川商事㈱代表取締役社長⑤チェロ演奏⑥62歳

ガバナー・スローガンを「創造しよう新しい未来をゼロトウワン」と致しました。

今年の7月、シカゴにおいて１００周年記念大会が、盛大に行われます。

次の１００年に向けて、新たな一歩を踏み出すためにも、無から有を生み出す気概を持って、会員増強、指導力育成、奉仕活動に取り組んでまいりたいと思っております。

キャビネット事務局も10年ぶりに移転しますので、心機一転し、今年が330・A地区にとって最高の年になるよう努力致します。

District 331-A　能澤　正明

のざわ　まさあき①北海道・札幌トラストライオンズクラブ②81年③01年度キャビネット幹事④㈲能澤理美容院⑤家庭菜園⑥76歳

スローガンを「語ろう　築こう　奉仕の新世紀」としました。２０１７年度は次の１００年に向けて起点を作る年です。テーマを「温故知新」とし、地区の心としました。今日のライオンズの高い評価は歴代の先輩諸兄の輝かしい歩みのおかげであり、敬意と感謝の念でいっぱいです。我々は未来に向けて奉仕の在り方を提唱しなければなりません。奉仕の感動と出会い、喜びを会員に伝え、共有しなければなりません。時代に即した方向を示す良い機会と捉え、共に語り、築き、行動する１年にします。

District 330-B　濵田　徹

はまだ　とおる①神奈川県・横須賀中央ライオンズクラブ②96年③12年度リジョン・チェアパーソン④㈲湘南安全硝子代表取締役会長⑤ゴルフ、ウォーキング⑥74歳

「友愛・協調」をテーマとし、メンバー同士が友人として楽しくクラブ運営、奉仕活動を行える地区を目指します。意見の相違が生じる時もあるかもしれませんが、よく話し合い、協調の下、一つの方向に進めば、メンバーが満足し、誇りに思えるライオンズクラブになると思います。ライオンズクラブ発展の原動力はメンバーです。２０１７年度、ライオンズクラブ国際協会は結成１０１年目になり新たな門出となります。地区を一隻の船に例え、奉仕に向けた新たな船出とし、地区発展のため誠心誠意、努力することをお約束致します。

District 331-B　香川　俊雄

かがわ　としお①北海道・帯広中央ライオンズクラブ②80年③08年度リジョン・チェアパーソン④トータルフーズ㈱代表取締役会長⑤読書⑥71歳

スローガンを「地域への奉仕と連帯の輪、つなげよう未来へ」としました。ナレシュ・アガワル国際会長のテーマは崇高なライオニズムの精神でもある「ウィ・サーブ」です。しかし、現実には会員の高齢化、会員減少という問題があります。地域への奉仕活動を実施するためには、会員維持と同時に新会員の増強が重要です。特に次代を担う青年・女性会員を積極的に勧誘し、次の１００年へ向けリーダーを育成し、１０１年のスタートにふさわしいアクティビティを会員皆様の協力を頂き実現出来るよう努めてまいります。

District 331-C　石岡　憲義

いしおか　のりよし①北海道・函館臥牛ライオンズクラブ②98年③12年度キャビネット幹事④㈲アイ・エス・アイ取締役会長⑤ゴルフ、ドライブ⑥74歳

ライオンズクラブ100周年の記念すべき年に、ライオンズ発祥の地シカゴにてガバナーに就任することを光栄に感じると共に責任の重さを厳粛に受け止めております。スローガンを101年目の新たな節目がスタートする起点の年として「ウィ・サーブ新たな一歩に誇りを」としました。未来を見据えた地域の若手リーダー育成に力を入れ、会員の資質向上を目的としたセミナーを行い、若者や女性から理解される魅力ある組織作りを目指し、会員増強を推進してまいります。新たな年に向けて確実な一歩を重ねてまいります。

District 332-A　北山　敏光

きたやま　としみつ①青森県・黒石ライオンズクラブ②95年③10年度ゾーン・チェアパーソン④北山青果㈱代表取締役会長⑤ゴルフ、旅行、スポーツ観戦⑥73歳

スローガンを「踏み出そう新たな一歩」としました。ライオンズクラブは、友愛と奉仕の精神で発展し続け、100年の歴史を刻んできました。またここから始まる1年を、メンバーが新しい奉仕活動に挑み、遂行出来るよう全力で応援し、地域に寄り添い愛され、地域と共に発展していくライオンズクラブを目指し、より一層友愛の輪が広まるよう邁（まい）進してまいります。そして、常に新しい目標と果敢なチャレンジ精神を持って、次代を支えるライオンズクラブの育成に努め、更なる発展に全力で取り組んでまいります。

District 332-B　森谷　潤

もりや　じゅん①岩手県・住田ライオンズクラブ②93年③06年度ゾーン・チェアパーソン④㈲森谷材木店代表取締役⑤音楽鑑賞、ヨット⑥68歳

何よりも元気で楽しいクラブ運営を心掛けて頂きたいと思います。

日本のライオンズクラブの65年の歴史の中で、先輩の皆さんは幾多の実績を残してこられました。それら積み重ねられた数々は我々のプライドでもあります。

その歴史とプライドを力に、元気よく会員拡大とエクステンションに努力します。

スローガンは、「かたい絆に思いを込めて、We Serve」、ガバナー・テーマは、「育てよう利他のこころ　ひろげよう奉仕の輪」と致しました。

District 332-C　竹下　直義

たけした　なおよし①宮城県・仙台萩ライオンズクラブ②79年入会③00年度キャビネット幹事④三共ビジネス㈲取締役会長⑤多趣味⑥67歳

「夢と希望の明日に向って　We serve」

東日本大震災から6年が過ぎました。被災地の復興は着実に進んでいますが、まだまだ被災者と共に歩み寄り添う支援が必要です。特に未来ある子どもたちが夢を諦めないよう支援することを地区として考えたいと思います。ライオンズクラブは「老・壮・青」のメンバーが相互理解の下で親交を深め、友情を育み、地域に根差した社会奉仕を目的とする団体です。会員、単一クラブ、そして地区全体の力を再認識し、結集させ、誇りを持って明るく活力ある運営を心掛けていきます。

District 332-D　菅野　文吉

かんの　ぶんきち①福島県・川俣ライオンズクラブ②91年③12年度ゾーン・チェアパーソン④㈱絹川建設工業⑤スポーツ、舞踊、旅行（主に温泉好き）⑥65歳

福島原発事故から6年3カ月が過ぎた今でも、県内外の避難先の住み慣れない環境の中で、生活している子どもたちが多いと伺っております。

スローガンを「人と人とが支え合う想いやりに笑顔で奉仕」、テーマを「仲間の増強こそがWe Serve」としました。日本各地、世界中で発生している多くの自然災害に対応出来るのがライオンズクラブです。そのために絶対に必要なのが会員の増強であり、維持であります。この思いを、会員の皆様と確かなものとしながら歩み、取り組んでいきたいと思っております。

District 332-E　伴　和香子

ばん　わかこ①山形県・鶴岡ライオンズクラブ②95年③12年度ゾーン・チェアパーソン④鶴岡放送児童合唱団代表⑤トレッキング、オペラ鑑賞⑥67歳

ライオンズクラブ国際協会は創立101年目に歩みを進め、飛躍し続けています。その原動力の一つは女性ライオンの感性や発想を生かすことでした。長い間、子どもの教育に携わってきた私がガバナー・テーマとして掲げたのは「子供達の未来へ手を差し伸べて行くライオンズを築こう!」です。スローガンは「時代と地域に求められる奉仕を」としました。子どもたちの未来を支える「奉仕」は今後全てのカテゴリーに入り、目標となるでしょう。当地区初の女性ガバナーとして精一杯務め、地区会員の皆さんと共に歩みます!

District 332-F　高堂　裕

たかどう　ゆたか①秋田中央ライオンズクラブ②99年③03年度キャビネット幹事④㈱あくら代表取締役⑤読書、謡曲、芸術鑑賞、旅行⑥68歳

次なる100年に向け、スローガンを「100周年　一歩踏み出し、ウィサーブ」、テーマを「一灯は万灯の基　脚下照顧のライオニズム」としました。無数の選択肢の中から、身近の奉仕を疎かにせず、世界を視野に入れた活動を心掛けたいと願っております。会員のポジティブな議論の中から、それぞれの目標実現、あるいはより大きな輪となる奉仕活動を応援し、そのための知恵と熱を醸成すべく研修イベントや他団体との連携の中で学べる奉仕などを展開し、喜びと誇りとを実感し分かち合える結実の秋に邁進する一年に致します。

District 333-C　髙橋　克文

たかはし　かつぶみ①千葉県・船橋翼ライオンズクラブ②03年③07年度ゾーン・チェアパーソン④社会福祉法人伸和会理事長⑤ツーリング⑥54歳

スローガンを「『仲間と共に風を起こし、更なる未来へ羽ばたこう!』～ライオンズクラブ好循環の輪が、素晴らしい第二世紀を動かし始める～」としました。国際協会創設100周年を迎えた今年を第二世紀へ羽ばたく年として、糖尿病を始め、献血、献眼、薬物乱用防止といった活動を継承しつつ、変わり続ける奉仕ニーズへも応えていくことこそが大切です。次の100年へ向けて、国際協会の方針を前向きに捉え、奉仕する仲間を増やし、研鑽し合い、地域にPRして、We Serveの方向性を私たちが自ら生み出していきましょう。

District 333-A　冨山　道郎

とみやま　みちお①新潟ライオンズクラブ②02年③09年度ゾーン・チェアパーソン④㈱冨山代表取締役社長⑤園芸⑥66歳

スローガンは「仲良く、楽しく、元気で奉仕」です。とかく世の中はいさかいが絶えません。せっかくお金と時間を使い奉仕をしているわけですから有意義なものにしたいと思います。年次大会のテーマは「三方良し　地域良獅・ライオンズ良獅・会社良獅」としました。古来、近江商人が大切にしていた「売り手良し・買い手良し・世間良し」という「三方良し」の精神。これは現代の生活でも「相手良し・自分良し・みんな良し」と置き換えられライオニズムの精神にもつながります。この精神で次の100年のスタートを切りましょう。

District 333-D　植原　宏

うえはら　こう①群馬県・高崎中央ライオンズクラブ②94年③09年度キャビネット会計④㈲植原住宅機設工業取締役社長⑥70歳

100周年を迎え、ナレシュ・アガワル新国際会長はスローガン「ウィ・サーブ」を掲げました。世代を超えてこの精神を貫き通すのは簡単ではありません。しかし、我々は奉仕をするという基本理念の原点に戻り新たなスタートをします。私はスローガンを「奉仕と絆　そして改革」とし、未来を考え若いライオンの育成や家族会員たちが誇りを持って活躍出来、ライオンズの一員になれたことを心から喜べるよう、更に奉仕の心を持って改革に取り組みます。誰もが希望を持てる未来に向けて発展していく努力をしてまいります。

District 333-B　石橋　貞

いしばし　ただし①栃木県・足利西ライオンズクラブ②80年③97年度、08年度キャビネット幹事④㈱石橋経営センター代表取締役⑤ゴルフ、合氣道⑥71歳

スローガンは「元氣で奉仕」、アクテビティ・スローガンを「未来に繋ぐ和の心」と致しました。

奉仕への熱い心と行為を大切に、横の関係を強化し、共に協力し、喜び合えるよう「We Serve」の意識を更に高め広げたいと思います。この空の向こうに同じ空を眺めている仲間がおり、さまざまな環境の中で私たちは生きることを学んでいます。毎日が「アタリマエ」のように繰り返しやってくることに感謝し、平和な世界になるよう、ライオンズ精神を基に今、目の前の自らが出来ることを、誠意を持って継続していきたいと思います。

District 333-E　川島　正行

かわしま　まさゆき①茨城県・土浦北ライオンズクラブ②90年③10年度ゾーン・チェアパーソン④㈱いっしん代表取締役社長⑤旅行、読書⑥56歳

今期は次の100年の幕開けの年であり変化を求めなければなりません。イノベーション「心の変化」を基に、スローガンを「次代の創造」とし副題に「想 創 奏」を提唱しました。想像出来なければ創造出来ず、皆で奏でることも出来ない。FWTに関わる家族会員に対しても新たな事業を本気で創出し楽しいライオンズ活動、例会を目指し、会員一人ひとりの「自己重要感」を上げていく必要があります。なぜ退会するかの理由に「楽しくないから!」こんな言葉が出ないように取り組んでまいります。攻める奉仕で We Serve!!

District 334-A 野村 善弘

のむら よしひろ①愛知県・岡崎中央ライオンズクラブ②97年③12年度ゾーン・チェアパーソン④宗教法人源空寺代表役員⑤旅行、ボウリング⑥76歳

ライオンズクラブ国際協会が101周年を迎えるに当たり、スローガンを「夢と絆で踏み出そう進化の一歩 ウィ・サーブ」としました。ライオンズの魅力と活力の再生、誇り高く、夢を求めて次の世紀に向けて変革の一歩を踏み出し、絆を深め進化した、新ウィ・サーブの下、奉仕活動に専念することで、奉仕活動の輪を大きく広げてゆくことを目指します。

奉仕活動の源である、会員増強、LCIFへの献金を積極的に行うと共に未来のライオンズを支える若手リーダー育成に取り組んでまいります。

District 334-B 日高 邦彦

ひだか くにひこ①三重県・久居ライオンズクラブ②04年③12年度ゾーン・チェアパーソン④日本土建㈱相談役⑤鮎の友釣り、皐月盆栽⑥75歳

ライオンズクラブ国際協会創設100周年祭の最終年度の節目の年に、ガバナー就任を迎えさせて頂きますことは、大変光栄であり、また、責任の重大さを感じております。

ナレシュ・アガワル国際会長は、常にどこでもウィ・サーブ、ウィ・サーブの大切さを提唱されております。スローガンを「次なる100年へのバトンタッチ＝笑顔で地域と連携 ウィ・サーブ＝」としました。会員増強は奉仕の力。LCIFを通じて国際貢献。皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

District 334-C 岩﨑 一雄

いわさき かずお①静岡県・沼津千本ライオンズクラブ②79年③93年度キャビネット会計④㈱イワサキ経営代表取締役会長⑤仕事⑥77歳

日本ライオンズは大きな組織になりました。何ものにも捉われず、見返りを求めないライオンズクラブの奉仕活動は、今、地球上で最も必要とされているのではないでしょうか。

私は、新たな100年に向けて更に奉仕活動に邁進するべく「新たな100年へ―全ての奉仕に光と愛を！」をスローガンとして提唱しました。全ての活動に「光」を当て、人間「愛」に基づいた心の伴う奉仕活動により新たな同志を増やし、ライオンズクラブの更なる発展に尽くしたいと思います。

District 334-D 藤弥 一司

ふじや ひとし①石川県・金沢菊水ライオンズクラブ②94年③11年度ゾーン・チェアパーソン④㈱丸藤代表取締役⑤鮎釣り⑥69歳

スローガンを「『We Serve』未来に向けて新たな奉仕と新たな改革」としました。シカゴでの100回目の国際大会からライオンズクラブは新たな100年に向けて歩み始めました。そして早速、2021年までに年間2億人の人々に人道的奉仕活動を行う、新たな戦略計画、LCIフォーワードが発表されました。今期国際会長のテーマは「ウィ・サーブ」であり、私たちは改めて「ウィ・サーブ」の原点を見極め、「温故知新」の下、新しい奉仕と改革に挑戦し、キャビネット方針を各会員までしっかり伝えてまいります。

District 334-E 山邉 正重

やまべ まさしげ①長野県・上田城南ライオンズクラブ②89年③06年度リジョン・チェアパーソン④㈱三協産業代表取締役社長⑤ゴルフ⑥68歳

スローガンを「積極的な挑戦を！ Let's Challenge more Aggressively to serve～新たなる山を求めて～」としました。副題の「新たなる山を求めて」はボブ・コーリュー国際会長の「次なる山を目指して」を受けたものです。今年度は国際協会101年目。新たな幕開けの年であり、LCIF発足50周年の年でもあります。LCIFへの献金を積極的に推進していきます。青少年指導育成の強化、ライオンズクエスト地区フォーラムの開催を重点活動として決定しました。新たな幕開けの年にガバナーとして邁進していきます。

District 335-A 藤田 文基

ふじた ふみき①兵庫県・尼崎南ライオンズクラブ②75年③08年度リジョン・チェアパーソン④不二電気工事㈱代表取締役会長⑤旅行⑥76歳

100年の歴史の検証をし、過去に敬意を払い、未来の構築を図ります。メルビン・ジョーンズの崇高な精神と、先輩方が注ぎ込まれた情熱、努力に感謝しながら、一度原点に立ち返り、検分したいとの思いから、テーマを「初志」、キーワードを「Go for it（目標に向かって進め）Never give up（諦めない）」としました。ライオンズを長く継承していくには、青少年、女性、若いメンバーの発言出来る場所が必要だと思います。次の100年に向けて新たな出会いと友情に感謝し、すばらしい未来を確信しながら、地区運営に臨みます。

District 335-B　柿原　勝彦

かきはら　かつひこ①大阪府・高槻ライオンズクラブ②85年③06年度キャビネット幹事④㈱柿原松栄堂取締役会長⑤映画鑑賞、海外旅行、スポーツ鑑賞⑥72歳

スローガンを「すべてに『愛』をもって　We Serve」としました。「We Serve」の理念の下、社会に奉仕します。一人では大きなことは出来ませんが、多くの人が同じ思いで行動すれば、世の中も変えられます。「世のため人のため」に、多くのメンバーが「ライオンと呼ばれる人」となるよう、L字の誇りを持って活動し「ライオンズクラブの価値観と活動が地域社会に決定的な影響力をもつこと」を目指します。地域の皆さんと共に「やって良かった」と共感出来る開かれた奉仕活動を実践したいと思っています。

District 335-C　後藤　典生

ごとう　ふみお①京都洛陽ライオンズクラブ②96年③13年度ゾーン・チェアパーソン④高台寺執事長⑤旅行⑥69歳

40年程前、インドのアグラに行った時、そこに日本ライオンズが主となり建設したインド救ライ・センターがあると知りました。多い時には一日千人を超える患者が押し寄せ、このセンターは患者にとっての大きな光、救いの場所であり、このような施設を提供した日本人にインドの人々は敬意を払っていると教えられました。以来、ライオンズクラブは私にとって憧れの的になりました。

思いがけずガバナーに推薦され、諸先輩が成してこられたことに誇りを感じ、その名を汚さないように今はがんばっていきたいと考えております。

District 335-D　小林　寛

こばやし　ひろし①兵庫県・姫路中央ライオンズクラブ②77年③05年度リジョン・チェアパーソン④㈱小林写真館取締役会長⑤旅行、ドライブ、麻雀、お酒⑥69歳

「一、楽しいクラブライフを創造し心豊かな人生を過ごしたい！　一、ライオンズクラブのステイタスとプライドを保ちたい！　一、意義あるアクティビティーでより多くを郷土に貢献したい！」とキャビネット運営理念を掲げました、企業や団体に理念があるように。達成のためのテーマを「より魅力あるライオンズクラブへ！」、スローガンを「やってみましょうや！」としました。全会員の報・連・相を徹底し、夢を見、希望を持ち、達成感を味わい、パワーを感じられ、各クラブの個性が発揮出来る運営を心掛けます。

District 336-A　川辺　信郎

かわべ　のぶお①徳島城山ライオンズクラブ②99年③09年度キャビネット幹事④㈱ビーエスエ機代表取締役⑤ゴルフ、読書⑥76歳

地区スローガンを「ライオンズクラブのキーは奉仕することである　Service Activity is the key to Lions clubs.」とし、ガバナー・スローガン及びキーワードを「新世紀・明日につなごう奉仕の輪」、「初心」としました。

「和（和力）」を基本に、「組織（輪力）」を拡げ、次代のリーダーを育み、奉仕の心を伝えることが私たちの使命だと考えております。

更なる「ステップアップ」と「スモールキャビネットの創成」を目指し、初心に返り、全力で取り組む所存です。

District 336-B　太田　健一

おおた　けんいち①岡山県・総社雪舟ライオンズクラブ②90年③13年度リジョン・チェアパーソン④㈲太田商店代表取締役⑤ゴルフ、旅行⑥67歳

スローガンを「成せばなる・ウィサーブ」キーワードを「家族・次世代・LCIF」としました。ライオンズクラブは100周年を迎え、新たなスタートを切ります。変えるべきこと、変えてはいけないことを把握して「なせばなる」の精神で粘り強く進んでいきます。家族会員の増強と次世代の育成は重要課題です。家族との奉仕、若手リーダーの育成は、地域の活性化、コミュニティーに合った魅力あふれるクラブ作りにつながります。ライオンズの意義は、今も昔も変わりません。地域の人々のためWe Serve！　がんばります。

District 336-C　今井　誠則

いまい　まさのり①広島紅葉ライオンズクラブ②84年③00年度ゾーン・チェアパーソン④東洋観光グループ代表⑤ゴルフ⑥70歳

スローガンは「手のひらを　あわせて奉仕　100周年」としました。人生で最も大切なことは、森羅万象に深く感謝することです。神様、仏様、ご先祖様、全ての人への感謝を形に表すと、手のひらを合わせた合掌です。右手と右手を握り合えば、信頼と友情の印の握手です。手を挙げて互いにタッチをすれば、喜びのハイタッチになります。皆で手と手を合わせて輪を作れば、大きな感謝の輪が出来ます。IT化を進め、LCIFに注力し、献血活動を更に活性化し、深い感謝の心を持ちつつ「We Serve」を実行してまいります。

District 336-D 秋田　千鶴

あきた　ちづる①島根県・浜田ライオンズクラブ②94年③11年度キャビネット幹事④ペンション族自営⑤空手、ペーパーアート⑥72歳

ガバナーとしての心構えは、いかなる時もぶれてはいけないこと。大きな問題と悩みはこれから生じることで、処理能力を問われることだと思います。女性としての感性を生かした、各クラブに対するきめの細かい支え。「キャビネットとはサービス業である」との言葉をキャビネット幹事時代に日々心して活動してきました。この地域で抱える高齢化が大いなる問題と悩みでしょうが、むしろここからの発想転換が出来ればと思います。クラブ会員の方々が、ライオンズクラブを楽しみ、誇りに感じてくだされればと思います。

District 337-C 乗田　泰

のりた　ひろし①佐賀県・伊万里ライオンズクラブ②83年③03年度ゾーン・チェアパーソン④税理士法人ノリタ代表社員⑤謡曲、ゴルフ⑥66歳

何世代にもわたって奉仕の遺産を遺すためには、将来を見据えた奉仕の発掘選定、地域に密着し地域のあらゆる人たちとの共同による奉仕活動、これらを通じた新会員の獲得が必要と考えます。日本の人口構成の大きな転換点となるであろう2025年以降は、奉仕の在りようにも影響を与えるかもしれません。会員の皆さんと、またライオンズクラブを取り巻く地域の人たちとよく話し合いを持ち、ライオンズクラブがより一層社会に根差して発展していくためには何が必要なのかを皆様と共に考え、活動していきましょう。

District 337-A 向井　健次

むかい　けんじ①福岡フレンズライオンズクラブ②84年③05年度ゾーン・チェアパーソン④証券投資むかい経済代表⑤ゴルフ⑥70歳

次なる100年へ進んで行かねばなりません。ライオンズを愛する心があれば、どんな山も乗り越えられます。会員それぞれが力を合わせて真のWe Serveを心に刻み、世界平和のために尽くしていかねばなりません。今こそメルビン・ジョーンズに敬意を表し、墓標に手を合わせ「われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する」とライオンズの誓いを捧げようではありませんか。会員増強、指導力育成、新クラブ結成を目標に、キャビネット全員で汗を流してまいります。We Serve

District 337-D 吉村千鶴子

よしむら　ちずこ①鹿児島さつまライオンズクラブ②93年③09年度キャビネット会計④南九州金属工業㈱取締役会長⑤茶道、旅行⑥74歳

創立101年、2世紀目の始まりに当たり、スローガンを「新世紀　知性豊かに　ウィサーブ」と致しました。会員の資質向上と各クラブの活性化に向け、委員会活動の充実を図ります。また、会員が原点である地域密着の奉仕に情熱を持って取り組み、喜びや誇りを持てるクラブ運営が出来るよう努力し、例会の出席率、会員増強、青少年育成等多くの課題に取り組みます。会員と共に考え、融和と相互理解の精神を高め、少しでもライオンズの発展に寄与して次世代に継げるよう全力で奉仕します。好きな言葉：覚悟を持って生きる

District 337-B 渕野二三世

ふちの　ふみよ①大分ライオンズクラブ②03年③14年度ゾーン・チェアパーソン④学校法人渕野学園理事長⑤音楽、映画、絵画鑑賞⑥65歳

スローガンは「We Serve　奉仕の花を咲かせよう」、モットーは「感謝　報恩（すべての人にありがとう）」です。子どもの頃、亡父が愛した大分ライオンズクラブの家族例会等に参加し、19歳の夏には交換留学生第1号として、カナダのカルガリーとエドモントンに行かせて頂きました。まさに、私は「子ライオン」です。今思えば、この留学体験を通して経営者としての礎を学ぶことが出来た気がします。その時の「感謝」とこれまで育ててくださった皆様への「報恩」を胸に皆さんと共に奉仕の花を咲かせていけたらと思います。

District 337-E 村中尊裕亀

むらなか　たかゆき①熊本第一ライオンズクラブ②96年③09年度キャビネット幹事④㈲花匠代表取締役⑤ゴルフ、釣り⑥57歳

ライオンズクラブ国際協会100周年を、発祥の地シカゴでお祝いする記念すべき時に、参加出来ることを光栄に思います。200周年に向かって、地区スローガンを「栄光の架け橋」とし、テーマを「アスクワン」としました。一人ひとりが未来に希望を持つよう、正会員の仲間を増やす指導が出来ればと考えております。目標は2千人突破です。昨年、当地区は地震で被災しましたが皆様のご支援により復興に取り組んでいます。ここにお礼と感謝を申し上げます。ライオンズクラブの活動を通してご恩返ししていく所存です。

国際理事だより

■国際理事
佐藤宜之
（大分）

次世紀への取り組み

メルビン・ジョーンズが100年前に世界と分かち合った奉仕の精神は今も生き続けている。しかし今日、1917年当時の世界を思い描き理解することはほとんど不可能だ。刻々と変化する世界の状況に対応するため、ライオンズはどのように変わればよいか？ どうすれば各地域社会と世界のニーズを満たすことが出来るか？ 私たちのポリシーをどこに求めればよいか？

多くの課題を克服しなければならない。そのため国際協会はあらゆる部門で会議を重ね、ある戦略を全ての地域に向けて発信した。それがLCIフォーワードだ。将来のビジョンを設計し遂行し実現させるためのロードマップとして次の計画を構築した。

(1)世界中のライオンとレオへのアンケートによる包括的なグローバル調査の結果、結束して視力・糖尿病・飢餓・環境・小児がんの五つのグローバルな人道的課題に取り組む

(2)グローバル化によって世界中で人口動態の変化が進み、あらゆる年齢、性別、人種、宗教の人々がライオンズの活動に参加してくる。ボランティアの状況変化に対応するため、誰もがライオンズクラブで奉仕のための居場所を持てるようにしなければならない。そのためには、個々人が行っている単発的なボランティア活動とクラブ組織の融合を図るテクノロジーを利用して人々と奉仕を結び付ける。社会的目的、職業、文化、スポーツ活動を中心とするスペシャリティ・クラブの結成を目指す。奉仕を焦点として企業とのパートナーシップを図る

(3)ますます進んでゆくグローバル社会の中、共同体、絆、地域を変える影響力、人と人のつながり、といったライオンズの伝統を損なわない戦略を考える

このような国際協会の基本戦略を踏まえ、日本において次の世紀へ向けビジョンの設計、遂行、実現を早急に目指さなければならない。一つの方法として、日本の八複合地区が賛助会員となり昨年度発足した一般社団法人日本ライオンズの効率的な運営を促進することが考えられる。例えば、献血奉仕は各地域ごとに活動しているが、八複合地区が協力し「一般社団法人日本ライオンズの献血奉仕活動」として厚生労働省や日本赤十字社とタイアップしスケールアップすれば、より充実し、ライオンズの認知度や社会への貢献度が上がると思われる。オリンピック・パラリンピックの助成、薬物乱用防止の活動も同様である。複合地区が協力して「一般社団法人日本ライオンズ」として社会に発信すれば、個々で行う奉仕活動よりスケールの大きな充実した活動に発展し、より大きな誇りと達成感を得ることが出来るであろう。

各複合地区の独自性と特異性を発揮しながら、全日本レベルの奉仕活動にも積極的に取り組む次世紀であることを夢見ている。

ライオンズ・ニュース・カセット

LIONS NEWS CASSETTE

330・B地区の整備でよみがえった国際本部の日本庭園

【内田吉則330・B地区100周年記念コーディネーター】アメリカ・イリノイ州オークブルックにある国際協会本部ビルの職員ラウンジ前には、池を配した本格的な日本庭園があり、憩いの空間を提供しています。1971年に現在の本部ビルが落成したのを記念して翌72年に日本ライオンズが寄贈し、その後330・B地区（神奈川県・山梨県）有志によって維持管理がなされてきました。今年度は100周年を記念して再整備に取り組みました。井出孝地区ガバナーの指示を受けた私は、現状の写真から図面を起こしてシュミレーションを行いながら、40年前に撮られた4枚の写真を元に作庭家が伝えたかったメッセージは何か、読み解きに時間を費やしました。池や川の流れのメッセージ、石一つひとつが何を語るのか、選抜された職人と議論を重ねました。剪定や植栽だけにとどまらず庭園としてグレードアップを図るため、現地で入手出来ない竹垣や獅子脅し、筧、つくばい、和風ポールライトを航空便で発送。職人と私の5人が電動工具や道具をスーツケースに詰め込んで現地入りし、5日間の作業に当たりました。

　庭園での作業を始めると日に日に見学する人が増え、質問と温かい応援の声が寄せられました。アメリカの公園の樹木は1本1本が独立していて強い木が光を独占しますが、日本庭園はさまざまな木々が重なり合って生まれるグラデーションを楽しむものです。ある本部スタッフに「ライオンズの活動のように全ての木に光が届くように剪定するのです」と説明したところ、目を潤ませていました。本部の施設課では業者に依頼して庭園を管理していますが、現地の業者は石の配置・向き・表裏に無頓着です。そこで全ての石を人力で移動させて40年前に戻し、難工事の防水処置も行って、最終日の日没1時間前、時間切れぎりぎりに終了しました。これからも国際本部で働く職員や世界から集まるライオンズの仲間に愛される日本庭園であり続けてほしいと願っています。

2017・18年度各複合地区ガバナー協議会議長就任予定者

2017・18年度、330〜337複合地区の各ガバナー協議会議長には次の8人の就任が予定され

ている。

■330複合：田中明（2017・18年度330・C地区ガバナー／埼玉県・和光）

■331複合：山田正昭（2014・15年度331・B地区ガバナー／北海道・釧路ぬさまい）

■332複合：森谷潤（2017・18年度332・B地区ガバナー／岩手県・住田）

■333複合：髙橋克文（2017・18年度333・C地区ガバナー／千葉県・船橋翼）

■334複合：野村善弘（2017・18年度334・A地区ガバナー／愛知県・岡崎中央）

■335複合：福田惠太（2013・14年度335・A地区ガバナー／兵庫県・芦屋）

■336複合：大谷博（2016・17年度336・B地区ガバナー／岡山）

■337複合：村中尊裕亀（2017・18年度337・E地区ガバナー／熊本第一）

ライオンズクエスト・プログラムを紹介する映像資料

青少年育成支援フォーラム（JIYD）はライオンズクエスト・プログラムの紹介映像を制作し提供している。約18分間の映像は「ライフスキル教育とは?」など六つのパートで構成され、ワークショップやプログラムを用いた授業の様子、実践する先生や生徒の声が収録されている。この映像はライオンズクエスト・プログラムのウェブサイト（lionsquest-japan.org）で視聴出来る他、DVD（1枚150円・送料実費）を購入することも出来る。注文希望の場合は右記のウェブサイトにある注文フォームを利用するか、電話またはEメールでJIYD（TEL03・3440・3373　Eメール：info@jiyd.org）へ連絡されたい。

会議録

■**第4回複合地区YCE委員長【ウェブ】連絡会議**（5月8日）①夏期交換ⓐ派遣生ⓑ来日生②YCE全体の申し送りについて

■**第10回ライオン誌日本語版委員会**（5月10日）①ライオン誌日本語版の運営②2017年5月号（4月20日見本／9万5400部発行）出来③6月号記事内容の確認④7月号台割（案）⑤ライオン誌デジタル化⑥その他

■**第4回複合地区会則委員長連絡会議**（5月25日）①前回会議要録の確認②アテネ国際理事会決議事項要約の確認③シカゴ国際大会上程の国際付則改正案の確認④ライオンズ必携第57版の改訂事項⑤ライオンズ必携第57版の頒布方法⑥次年度への申し送り

■**第9回複合地区ガバナー協議会議長【ウェブ】連絡会議**（5月29日）**【国際理事案件】**①スペシャルオリンピック日本（SON）との調印について（中村国際理事）②メルビン・ジョーンズ墓所修復その他（中村国際理事）**【議長会案件】**③次年度への引継ぎ事項（案）について④シカゴ国際大会関係⑤レオクラブ委員長連絡会議開催のお願い（333複合地区）⑥各種委員会報告⑦日本ライオンズ会計報告⑧今後の会議予定

新結成／解散クラブ

■**新結成クラブ**

愛知Y.C.E.（田村洸樹会長／23人）▼4月26日認証▼スポンサー／334・A地区3リジョン

長崎半島（鶴義則会長／21人）▼5月22日認証▼スポンサー／長崎中央

■**解散クラブ**

5月＝神奈川県・横浜本牧／埼玉県・熊谷シニア

訃報

■**元国際役員**

樫山幹男（長野県・佐久）5月9日死去。88歳。89年度334複合地区ガバナー協議会議長、334・E地区ガバナー。

花田良一（青森県・弘前チェリー）5月12日死去。70歳。14年度332・A地区ガバナー。

■**献眼者**

4月＝佐藤善政（富山南）

◎ライオンとしての多大な功績をたたえ、ご冥福をお祈り申し上げます。

Touchstone Stories　試金石ストーリー 16

WHERE THERE'S A NEED THERE'S A LION
SINCE 1917

ライオンズの100年の歴史と奉仕活動の足跡を伝え、その真価を物語るストーリーの数々を紹介します。
写真とテキストは100周年ウェブサイト（lions100.lionsclubs.org）でも閲覧出来ます。

暗闇と闘う騎士に

ヘレン・ケラーはオハイオ州シダーポイントで行われた1925年のライオンズクラブ国際大会で、新設されたばかりのアメリカ盲人連盟の使節として演説を行いました。

「もしも今日、突然目が見えなくなったらどのように感じるか、想像してみてください」

と、彼女は会場にひしめくライオンズに呼び掛けました。

「昼間でも夜であるかのようにつまずき、手探りする自分の姿を思い浮かべてみてください。仕事を失い、自立した生活も望めなくなるでしょう」

ヘレンは身をもって知っていました。生まれて19カ月で視力を失い、耳も聞こえなくなった彼女はかつて、意思の疎通もままならない孤独の中に暮らしていました。ある日、パーキンス盲学校からアン・サリバンという名の教師がやってきます。アンはヘレンと生活を共にし、手話を通じて世界とつながることを教えます。彼女はやがて読み書きを覚え、大学を出て話すことも学びます。

当時、ほとんどのライオンズは有名になっていた彼女の物語を知っており、聴衆の中には既に視覚障害者への奉仕事業に取り組んでいる者もいました。しかし、ヘレンが盲人の苦しみを懸命に訴える姿は、その場にいた全員に、目が見えないという現実を我が身のことのように理解させたのです。ライオンズもそのゲストも胸を突かれました。

最も心を揺さぶる言葉を、ヘレンは演説の最後まで取っておきました。ライオンズがアメリカ盲人連盟と提携し、視力を失った人々を組織として支援してくれることを期待したのです。

「予防可能な失明が根絶され、耳や目の不自由な子どもが全て教育を受けることが出来、男性であれ女性であれ全ての盲人が支援される日が早くやってくるよう、手を貸して頂けませんか？　ライオンズの皆さん、見える目を持ち、聞こえる耳を持ち、力強く勇敢で親切なあなた方にお願いします。ぜひ盲人のために暗闇と闘う騎士になってください」

予防可能な失明の根絶と視覚障害者への奉仕に尽力するよう、ヘレン・ケラーはライオンズの意欲をかき立てた

国際協会がどこまでこの呼び掛けに応えるか、彼女には想像もつかなかったことでしょう。この大会の中で国際協会はヘレンの夢の実現に全力を尽くすことを誓い、ライオンズは彼女の言う「盲人の騎士」になりました。

ヘレンのスピーチが行われた25年以来、世界中のライオンズの視力関連の活動は何億人もの人々の生活を変えてきました。そして国際協会は今も同じように、予防可能な視覚障害によって苦しむ人のいなくなる日が早く来るよう献身しています。眼科センターと病院、薬と手術、眼鏡とアイバンクを通じて、ライオンズは予防可能な失明の根絶と視覚障害者への支援に取り組んでいます。

ヘレンの呼び掛けと夢は今も生き続けているのです。

鷲神公園に西宮権現平桜を植樹する須田町長（左）と西宮甲山ライオンズクラブのライオン小野木義一

●宮城県女川町

桜でつなぐ心の交流

5月9日、335-A地区2リジョン4ゾーン（兵庫県・西宮さくら、西宮甲子園、西宮戎、西宮甲山、西宮ホワイト、西宮マイスター／上田和弘ゾーン・チェアパーソン）の代表ら14人が女川町を訪問。須田善明町長を始めとする女川町関係者や、女川ライオンズクラブ（加藤忠雄会長／13人）の会員らと、同町の鷲神公園に西宮から運んだ2種類の桜の苗木を植樹した。これは西宮市と西宮市内6クラブの協働事業として実施されたもので、寄贈した桜は西宮オリジナルの西宮権現平桜10本と夙川舞桜13本。

西宮市は周辺の宝塚市、川西市、猪名川町の3市1町と、宮城県登米市、栗原市、女川町、南三陸町の2市2町の間で「東日本大震災に係る災害応援活動に関する協定」を交わし、女川町と南三陸町へ延べ約60人の職員を中長期で派遣し復興を支援している。その関係から、今回の事業にも全面協力。市が寄贈植物の提供や育成管理などを担ってくれ、ライオンズは資材の提供や被災地への配送などを担当した。

女川町の「町の花」は桜で、震災前は町の至る所に桜があった。が、最大波高約18メートルの大津波がほとんどの桜を根こそぎ奪ってしまった。今回植樹をした鷲神公園にも以前は多くの桜があったが、人口の一割近い町民が亡くなり、火葬を待つ犠牲者を一時的に公園内に土葬するなどしたため、桜は撤去されていた。その後、鷲神公園には岐阜県高山市の臥龍桜や京都・仁和寺の御室桜など全国の有名な桜を集め、震災で亡くなった方たちを慰霊しようという計画が進行。公園は町の中心部や女川港などを一望する高台にあり、今回植樹された西宮オリジナル桜はそれら名だたる桜と共に、女川町の復興を見守ることになる。

鷲神公園から復興が進む女川町中心部を望む

女川駅前から海に向かって伸びるプロムナード沿いに建てられたテナント型商業施設「シーパルピア女川（27店舗）」と「地元市場ハマテラス（8店舗）」

一方、女川町から西宮市へは、津波に襲われながら震災後に花を咲かせた「津波桜」の子孫が贈られた。この桜は津波で駅舎が流されたJR女川駅北側に残ったもので、枝がほとんどなくなり幹も途中から折れていたが、震災の1カ月半後に3輪の花を咲かせた。桜はいつしか津波桜と呼ばれ、町民による「女川桜守りの会」が結成され保全に当たった。高校生たちは「さくらたん」の愛称で声援を送り続け、その声に応えるかのように桜は次々に新芽を出し枝を伸ばそうとした。しかし、2012年に枯死と判断され伐採。西宮に贈られたのは津波桜から継ぎ芽をした後継樹で、植樹に参加した関係者らは、桜の成長を見守りながら、桜で結ばれた絆を末永く育んでいきたい、と語っていた。

（取材／鈴木秀晃）

町全体が一つのチームとなった女川

須田善明
（宮城県・女川ライオンズクラブ）

すだ・よしあき　1972年女川町生まれ。震災後の2011年11月、3期目の宮城県議から転じて女川町長に当選。2000年2月入会。2010～12年度クラブ会計。

震災当日は宮城県議会で私が所属する委員会の最終日で、午後1時15分ぐらいに採決が終わり、統一地方選挙が近いこともあり、すぐ地元に戻る日程でした。

地震が起きたのは車で内陸部を走行中の時でした。緊急地震速報が携帯電話から鳴り、車を停めると、体感的には2分ぐらいだったでしょうか、とんでもない揺れが襲ってきました。女川に暮らす者として津波のことは直感的に頭に浮かびます。しかし、カーナビのテレビが伝える津波警報の波高は最初が1メートル、間を置かずに3メートル、6メートル、10メートルと次々に修正され、画面に映し出される津波襲来を受けた各地の映像に、何が起こっているのか、にわかには理解出来ませんでした。それでもとにかく戻ろうと、海側は避け、遡上した津波があふれ出る北上川の脇から山側の細道を通り女川を目指しました。

女川には日没前に着きましたが、津波が押し寄せている街中には当然入れません。その間にもニュースは津波の状況を刻一刻と伝えていましたが、女川の情報は全く報じられません。全域が停電しネットや電話もつながらず、情報が外に出せる状況になかったのです。「外部のどこに何を伝えればいいか今時点で知っているのは、外から町に入って来られた自分だけかもしれない」と考え、避難状況の確認や町境まで行って県知事へメールで救援要請をしている最中に、偶然女川ライオンズクラブの加藤忠雄会長と出くわし、そこから一緒に町を回って頂きました。

そうして震災当日の夜を過ごした翌朝、日の出に照らされた、無残な古里の惨状をこの目にしました。が、その日の夕方になっても、女川の状況は依然報道されません。そこで、その時点で最も早い情報伝達手段、つまり直接伝えに行くことにし、仙台の県庁へと向かいました。災害対策本部へ到着したのが13日未明で、既に大津波から1日半が経っていました。

以降、地元県議として震災対応に追われる中、改選時期に当たっていた女川町長選挙に出馬するようさまざまな方から要請を頂きました。が、私自身は安住宣孝町長（当時）が全力で復興に臨む姿を間近で見ており、その強いリーダーシップに敬服していましたので、要請を固辞していました。ただ一方で、女川に生き、この地に骨を埋める者として、自らの生き方がどうあるべきかも考えていました。

地方では、還暦世代が地域社会を背負うことが多く、女川もそうです。当時私は39歳で、今まで通りなら20年後に地域を託される世代になります。そこを考えた時、将来背負う責任であるなら、この復興の一歩目から我々世代がその責任を担うべきではないか。更には次代を担う子どもたちに、涙を流しながらでも顔を上げ前を向いて進む、彼らの親世代である女川の大人の姿を示していきたい、と考えるようになったのです。

震災の年の11月に町長に就任し、復興の舵取り役を務めることになりました。女川町は小さいが故に地域の連帯が強い町です。その強みを生かし、復興まちづくりの事業立案プロセスにも多くの町民に参加して頂きました。関わる全員が一つのチームになるイメージです。ライオンズは個ではなく「われわれ」が基本ですが、女川も「われわれ」で新しい町を創り上げています。小さな町でもここまで出来る、ということを証明していきたい。ただ、私たちがこうして前に進めるのも、世界中の皆さんが国境を超え、世代を超えて支えてくださったおかげです。そのことがもたらした多くの交わりによって化学反応が起き、前向きな空気感が醸成され、新たな行動が起き続けてきました。皆さんとの交わりが私たちの今を築いてくれたのです。だからこそ、ありがとうという感謝の気持ちだけでなく、女川は地方社会の未来へ向けてこのように生まれ変わりました、という姿を現実に示すことで、皆さんからの支援に応えていくことが大切だと考えています。

LCIF FILE

LCIF Development Update

■LCIF献金現況報告

献金額単位：ドル　LCIF日本事務所集計　2017年4月30日現在

地区	献金額	1人当たり献金額	1人当たり前年度献金額	MJF口数	クラブ参加率
330-A	401,695	86.6	38	315	87.1%
330-B	450,153	111.0	118	294	91.0%
330-C	164,978	82.4	51	98	92.9%
330複合	1,016,826	95.0	71	707	89.6%
331-A	271,384	120.8	121	210	87.5%
331-B	104,540	46.2	56	70	68.2%
331-C	91,935	57.8	56	56	90.2%
331複合	467,859	76.7	80	336	80.3%
332-A	140,955	78.3	33	105	88.9%
332-B	77,333	49.1	70	47	86.8%
332-C	136,254	97.3	79	115	85.1%
332-D	170,568	85.6	104	140	84.5%
332-E	67,835	39.8	41	53	69.6%
332-F	51,555	47.2	59	33	59.1%
332複合	644,500	67.4	62	493	80.2%
333-A	185,446	71.7	50	133	91.8%
333-B	98,747	86.5	92	79	93.8%
333-C	154,701	51.4	78	117	64.9%
333-D	130,701	74.0	109	103	77.8%
333-E	280,553	95.1	85	227	93.9%
333複合	850,148	74.2	80	659	81.3%
334-A	1,057,615	231.8	283	1,021	95.0%
334-B	273,980	88.3	89	222	82.3%
334-C	262,065	88.0	97	223	81.3%
334-D	448,933	116.5	97	401	93.9%
334-E	208,040	108.6	124	191	86.5%
334複合	2,250,633	137.1	150	2,058	88.8%
335-A	136,154	70.3	60	101	82.7%
335-B	713,777	139.0	120	605	99.4%
335-C	315,036	85.2	103	225	98.3%
335-D	111,181	63.9	120	88	100.0%
335複合	1,276,148	102.0	105	1019	96.0%
336-A	338,918	66.0	63	269	91.8%
336-B	157,169	55.3	66	52	73.4%
336-C	208,623	67.1	62	154	85.4%
336-D	132,704	44.3	69	59	93.5%
336複合	837,414	59.5	64	534	86.7%
337-A	302,550	70.4	115	239	73.3%
337-B	205,966	93.8	60	138	91.3%
337-C	259,558	94.7	124	193	91.3%
337-D	96,721	43.7	55	63	68.4%
337-E	84,095	52.8	55	59	77.6%
337複合	948,890	72.8	90	692	79.7%
全国	8,292,418	88.3	91.6	6,498	84.2%

LCIF Development Update

LCIFの使命を達成しよう

今期の献金目標額900万ドルに対し、4月末現在約830万ドルが集まり、目標達成圏内となっています。これは各複合地区・準地区コーディネーター、LCIF委員会の皆様のご努力と会員の方々のご支援のおかげです。心より感謝申し上げます。

　LCIFはアメリカの慈善団体評価組織から5年にわたり最高位の4ツ星評価を受けるなど、外部からの期待はますます大きくなっています。私たちはその期待に応え、世界の困難にある人、恵まれない人を支援しなくてはなりません。そのためにはメンバー一人ひとりの貢献が必要だと、山田實紘LCIF理事長は訴えておられます。同時に交付金を活用した大きな事業を行って社会に貢献すると共に、交付金事業を通してLCIFをより一層理解して頂きたい、とも述べておられます。これらは新年度も引き続き実行していくことが必要と考えます。

　また新年度から設置されるクラブ・コーディネーターは、自クラブでの啓発活動や資金獲得活動を通じてLCIFを強化していくことになります。そのためにはクラブ・コーディネーターの研修会を開催するなどして、十分な準備の下にクラブ及び地区コーディネーターが連携することが必要です。LCIFの使命達成に向けて、ご支援をお願い致します。

（LCIF東日本エリア・コーディネーター／大石誠）

※330-A地区から2016年11月分としてご報告頂いていた84クラブ分の20ドル献金が、LCIF本部において未処理となっておりましたため、先月号までの同地区のクラブ参加率に反映されておりませんでした。2017年5月末までに処理され、今月分実績表から訂正されましたことをご報告すると共に、関係各位に心よりお詫び申し上げます。

●獅子吼（ししく）
①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力に例えていう語。
②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）
●投稿要領：
会員及び家族によるエッセー、提言など。1,600字程度

地元の民話に魅せられて

中村　栄美子（新潟県・糸魚川）

平成28年12月22日に発生した未曽有の「糸魚川駅北大火」では、全国のライオンズクラブから心の込もった義援金をお寄せ頂きました。地元ライオンズの一員として、心からお礼申し上げます。

さて、私が「むか～し、むかし」の民話に出会ったのは昭和56年のこと。当時私は電電公社の職員でした。高嶺の花だった電話が、各家庭に普及し始めていました。

そんな折、全国の電話局に「お客様サービスの一環として独自のテレホンサービスを始めるように」という通達が出されました。お客様サービスの担当だった私が「さて、何をすればいいのか……」と迷っていた時、子どもの通う幼稚園の父母会で園長先生が話してくださったのが、「行人塚」の話でした。

「それは刈り入れも間近という秋のこと。大雨が3日も続いて、姫川はもう少しで土手を乗り越えようとしておった。

『どうしたらええんじゃろう』

村の衆は集まって思案していると、庄屋さんの家に長逗留している行者が突然、

『私が人柱になろう』

と自ら申し出て、人柱となって洪水から村を救った」

この話を聞いて深く感動し、「地元の民話をテレホンサービスとして紹介してみよう」とひらめいたのです。これが大ヒット。1日に700人以上の人が聞く人気のテレホンサービスとなり、私が地元に伝わる民話に深く関わっていくきっかけになったのです。

以来、山間のお年寄りを訪ねて昔の伝承や伝説を聞き取る採話に駆け回りました。「むか～し、むかし」の話が学校でも評判となり、「糸魚川・西頸城の民話」として1集から6集まで出版されました。高視聴率のテレビ番組「まんが日本昔ばなし」にも6話採用、全国放映されました。そして毎日新聞が募集した「明日の故郷を考えるふる里提言」に「故郷の民話を次の世代に伝えよう」で応募、提言賞を頂き、民話にのめり込んでいきました。

一方、時々小学校で民話の語りをしていましたが、1時限45分間をやり通すことの難しさを実感していました。子どもたちが飽きてしまうのです。何とか子どもの興味を持続させる方法はないものかとあれこれ考え試行錯誤していた時、一緒にお茶を飲んでいた友達が、

「子どもの頃、いつも5円玉持って紙芝居見たよね。紙芝居で民話やってみたら」

目からうろこ。う～んと思わずうなっていました。

思い立ったら行動開始。平成10年、

紙芝居人生に突入しました。手作り紙芝居で、映像に慣れた子どもたちの好奇心を持続させられるかしら……。胸をドキドキさせながら読み進むと、「すご～い！」子どもたちのピカピカ光る好奇心の目が45分続いたのです。紙芝居成功！ そのうれしかったこと。言葉では表せない感動がありました。

現在は、31年間続けたテレホンサービスは終了し、ホームページ「糸魚川の民話」で毎月2話ずつアップされています。オリジナル紙芝居は80作となり、全国規模の紙芝居大会で優秀賞を何回か頂きました。

退職して15年。月に十数回、図書館、学校、老人会、老人施設等で地元に伝わる民話を紙芝居で紹介しています。生まれ育った古里の自然や伝承を深く知ると、古里を見る目が豊かになり愛着が湧き「古里大好き人間」になりました。

遠い祖先が口から口へと語り継いできた「むか～し、むかし」の話を、一人でも多くの人に伝え、古里大好き人間の輪が広まることを願いつつ紙芝居を続けています。（14年入会／72歳）

世界の子どもに「スマイル」を

西川　正克（鳥取中央）

今から40年前、現在の仕事である中古車・中古自動車部品の販売をスタートさせ、海外進出を目論み、初めて外国に行った時のことです。街には物売りや物乞いをする幼い子どもたちの姿がたくさん見受けられました。保護施設はあっても、身寄りのない子どもが多すぎて収容しきれないのです。が、当時の私にはどうすることも出来ず、情けない思いだけが強く残りました。

その後、日本の中古車がどんどん海外へ輸出されるようになり、部品の需要も高まって、私は仕事でいろいろな国を訪ねる機会が増えてまいりました。

そんな頃、鳥取大学の留学生でモンゴル・ウランバートル出身の方とお話しする機会を得、モンゴル進出の気運が高まり、早速現地へ赴くことになりました。3月とはいえ外はマイナス10度、風が肌を刺すようでした。そんな寒さの中、街中でポケットティッシュを手に走り寄ってくる子どもたちを見て、はっとしました。今では随分少なくなったと聞いていた、マンホール・チルドレンだったのです。

何度かウランバートルを訪ねるうち、そうした子どもを迎え入れ世話をしている施設があることを知りました。訪問し何かお手伝い出来ないかと尋ねたところ、施設で生活している乳幼児から20歳までの子どもたちへ、おもちゃや衣服を頂けたら、ということでした。

実は私には、心の中でくすぶっていることがありました。27年前、15歳の娘を1年間の闘病生活の末に亡くしました。主治医や看護師の方々には感謝してもしきれないほどお世話になり、いつか必ず何かの形で恩返しをと思いながらも、何も出来ずに月日が流れてしまっていたことです。

この機会を逃してはならないと、帰国後早速、所属している鳥取中央ライオンズクラブで思いを打ち明けました。メンバーからは快く協力が得られ、たくさんのおもちゃやぬいぐるみ、衣服などが集まって、まずウランバートルへ送る中古自動車部品のコンテナに積み込みました。

活動を続けていくうちに鳥取大学の

留学生との輪も広がり、南アフリカ、南アメリカ、東南アジアのたくさんの国へ送ることが出来ました。子どもたちからは、おもちゃを手にした無邪気な笑顔の写真、お礼の手紙、明るい絵などが送られてきました。中でも一番心に残っているのは、男子生徒が就職の面接に行くのに、贈られたスーツを着ていくことが出来たと、写真と手紙を送ってくれたことです。この笑顔をもっともっと多くの子どもたちに広げようと、ライオンズ・メンバーを中心に「世界の子どもに『スマイル』を」の活動が始まりました。

そのうちに、日本の昔話を紙芝居で紹介してみてはどうだろうと、現地の言葉に翻訳してもらい送ってみたところ、「話し手と聞き手の心が通い合うすばらしいものだ。自分の国の昔話や新しいお話でも試してみたい」との返事を頂きました。

こうした私たちの活動はメンバーを通して地元企業にも波及し、鳥取信用金庫、鳥取環境事業公社からはデザインの更新に伴い不要になった制服を頂くなど、活動の輪がだんだんと大きくなっています。

これまでにメンバーと訪れた先々では、子どもたちが大歓迎をしてくれ、一生懸命勉強した日本語でお礼の言葉を述べてくれました。それを聞く度に、長年の思いを遂げることが出来、子どもたちの「スマイル」が広がってきたことを実感し、うれしく思います。

これからも、押し付けにならないよう、子どもたちの喜ぶ姿や笑顔を想像しながら、何より子どもたちが胸を張って社会へ羽ばたいていけるよう、メンバーと手を携え、気持ちを込めて応援していきたいと思います。

「世界の子どもに『スマイル』を」を合言葉に！

（テール・ツイスター／03年入会／69歳）

古代ロマンのモニュメントを寄贈

篠原　信明（福岡県・稲築）

福岡県のほぼ中央に位置する337-A地区3リジョン3ゾーンは嘉麻市・飯塚市・嘉穂郡桂川町から成る嘉飯桂地区と呼ばれ、九つのライオンズクラブがあります。今から約150年前、明治時代に入り日本に産業革命が起こると、この地を含む筑豊炭田では次々と炭坑が開かれました。多数の大企業が当地で炭鉱業を行い、日本の近代産業を支えてきましたが、第二次世界大戦後のエネルギー革命により1950年代後半からは閉山が相次ぎ、人口も激減していきました。

今期ゾーン・チェアパーソンを務める当クラブのライオン山﨑健一は、就任後間もなく古代まつり実行委員会代表の藤江文雄氏と出会いました。藤江氏の研究によると、この地域では古代、稲作や土器・鉄器加工等さまざまな技術が発展しており、日本経済を牽引していた炭鉱時代に匹敵する、あるいはそれ以上の文化が発達していたとのこと。こうした歴史を市民に伝えようとする藤江氏の活動に賛同し、ライオンズクラブ国際協会100周年記念事業として9クラブ合同で取り組むことを決定しました。

筑豊地区を流れる遠賀川流域では縄

文・弥生から古墳時代にかけての遺跡が数多く発掘されています。地の利に恵まれ、遠賀川は響灘へと続く水運、冷水峠を越えると朝倉地方に通じる南北の交通路、太宰府方面からショウケ峠を越え、当地区、鳥尾峠を越えて田川地区、宇佐地区へとつながる東西の陸運があり、まさに交通の要でした。

この流域一帯は日本の稲作発祥の地と言われ、上流に位置する当地は後に大和朝廷によって屯倉が置かれるほどの豊穣の地でありました。それ故「穂波」「筑穂」「稲築」「飯塚」など米にまつわる地名が多数あります。

鉄器・石包丁や各種土器の生産地として、多数の遺跡や古墳からは貴重な出土品が発見されています。特に国の重要文化財である立岩遺跡からは43基の甕棺が見つかり、その一つには前漢式銅鏡6面、細形銅矛1本、鉄剣1本が副葬されていました。この地域を支配していた王墓と考えられます。

古事記や日本書紀に登場する多くの神々の伝承も、当地域内の神社や文献に残っております。

このように日本の歴史上においても貴重な当地域の古代文化を地元市民に周知すると共に、青少年の古里への帰属意識・郷土愛を育てる活動のシンボルとして、前漢鏡を模した高さ3・3メートルのモニュメントを作成。1日約8千人が利用する筑豊の玄関口・新飯塚駅前に建立することに致しました。

5月14日、晴天の下、飯塚市長・嘉麻市長・桂川町長に出席を賜り、田中孝文地区ガバナー、澁田繁晴元複合地区議長らと9クラブの三役を迎えて除幕式を開催しました。地元高校生によるブラスバンドが式を盛り上げ、100人以上が参加する盛大なイベントとなりました。

この古代ロマンのモニュメントが、地域の魅力や誇り、明るい未来のシンボルとなることを願います。我々も改めてライオンズの奉仕活動に更なる努力を重ね情熱を注ぎ、豊かな自然、人材、地域づくりに貢献する事業を継続していきたいと思います。

（クラブ第1副会長／12年入会／49歳）

長崎原爆の思い出

東都宏（神奈川県・横浜中央）

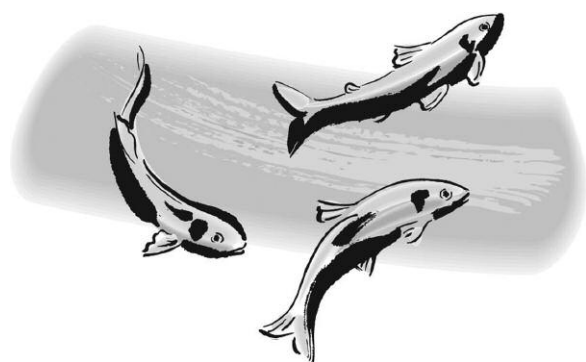
戦後72年、あの「大東亜戦争」のことが忘れ去られようとしています。

昭和20年8月6日、広島に落された爆弾を当時の大本営は特殊爆弾と称していました。私は旧制第五高等学校（熊本県）の物理化学の授業で原子核分裂の話を聞いていたので、それは原子爆弾だと直感しました。原子爆弾は原子核の分裂反応を利用した核爆弾で、広島のそれはウランの、長崎はプルトニウムの核分裂を利用したものと言われています。

昭和20年と言えば極めて食料事情が悪く、お芋はごちそうの方で、お米はほとんど軍へ行き、庶民には時に玄米の配給があるくらいでした。私が昭和18年に入学した五高では、厳しかった中学時代の軍事教練とは月とすっぽん。軍事教練の授業はただ鉄砲をかついで歩行行進するだけで、「下手な戦争やめてしまえ」などと言う連中もたくさんいました。熊本の第六師団の中将閣下が「五高には反軍思想がみなぎっている」と説教にやってきたのを拍手喝采で見送り、爾来我々五高生が喫茶店でお茶を飲んでいると、何をしゃべって

いるかと憲兵が後ろで聞いていました。そういう時代の後、昭和20年8月、広島・長崎に原爆が投下され、15日の無条件降伏となりました。

日本が引き起こし、完膚無きまでに打ちのめされていたあの戦争で、もう敗戦は免れないという状況下の8月9日午前11時2分、長崎に原爆が投下されました。当初は九州の軍需産業の中心地であった福岡県小倉への投下が計画されていましたが、当日小倉は天候が悪く、急きょ長崎へ変更されたと聞いています。

この日私は夏休みで、熊本・阿蘇にある五高の友人宅で、当時都会ではとても食べられない「銀しゃり飯のおにぎり」をごちそうになっていました。そこでラジオの昼のニュースで、長崎への原爆投下を知りました。当時長崎には私の家族が住んでいましたが連絡が付かず、11日朝、私は熊本から汽車で長崎へ向かいました。8時間掛けてやっと終点・道の尾駅に着くと、その時は二つ先の長崎駅まで汽車が走ることになりました。

汽車は原爆で燃えていた線路をゆっくりと進んでいきました。長崎市内を一望出来る場所に着いた時、私の目に映ったのは、まるで赤茶けた砂漠のようになった街でした。所々に折れた煙突や焼けた大きな木の幹が点在していました。そこで見た地獄のような様相は今でも私の目に焼き付いています。全身やけどを負った数えきれないほどの人々が、川の両岸から一様に頭を川に突っ込んで死んでいました。さぞかし喉が渇いていたことでしょう。浦上駅を過ぎて長崎駅まで、至る所に焼け焦げた人々の死体が転がっていました。

幸い私の家は爆心地から6キロほど離れていたので、家族は全員無事でした。弟が原爆投下の様相をつぶさに語ってくれました。当日当時には空襲警報ではなく警戒警報が発令されていました。弟は何げなく2階の物干しに上がり浦上方面を眺めていました。すると大きな飛行機（B29）が千メートルくらいの高度で一機だけ飛んで来てパラシュートを落とし、たちまち飛んで行ってしまいました。パラシュートに何かぶら下がっていると思って見ていたら、地上500メートルくらいの高さになった時、ものすごい光と音を発してそれが爆発したのです。弟はびっくりして家の中へ飛び込みました。まさしく「ピカドン」と呼ばれた原爆爆発の瞬間でした。数分後、猛烈な爆風が飛来、屋根の瓦が半分ほどはがれ、タンスの引き出しが全て飛び出し中の衣類が舞い上がったそうです。

私は約1週間長崎に滞在し、再び熊本に戻りました。私の父は73歳で胃がん、母は83歳で脳出血、二人の弟は前立腺がん、末弟は白血病のような得体の知れない血液病にかかりました。私は被爆から20年後、頻発する心室性期外収縮が起こり、15年前には心室細動を起こす危険があると宣告され心臓の薬を服用し続けています。10年前には大腸がんの手術を受けました。もう卒寿の祝いを過ぎましたが、何とか元気で生存しております。ひょっとするとこれら家族の疾患は、被爆の影響があるのかもしれません。

私は核の恐ろしさを身にしみて味わっています。核融合の水素爆発でも起きたら人類滅亡の危機に直面することになります。核爆発だけは絶対に避けたいものと切に思う次第です。

（68年入会／90歳）

水害にも負けず咲き誇る桜堤とクラブの精神的支柱「遊心桜」

取材／鈴木秀晃

2015年9月、台風18号の影響による記録的な豪雨（関東・東北豪雨）で、茨城県常総市では10日昼過ぎに三坂地区の堤防が決壊。浸水域は南北約18キロ、東西約4キロにも及び、約1万1千戸の住宅が水に浸かった。

常総市は06年、旧水海道市に旧石下町が編入合併されるのと同時に市名を改称して誕生。中央を鬼怒川、東を小貝川、またその間を八間堀川が流れる。関東・東北豪雨で堤防が決壊した三坂地区は旧水海道市と旧石下町の境界付近で、今回の舞台・八間堀川の桜堤は、その決壊現場のほぼ真東にある。三坂地区で堤防を破った水は、鬼怒川と八間堀川の間にあるバイパスを越え、更に八間堀川の堤をも破った。

この堤は1990年代後半に河川改良工事の一環として公園や休憩所、トイレを造ることが計画されていた。が、バブル崩壊もあり旧石下町は計画を断念。代わりに99年と00年の2年計画で、150本の桜を堤に植樹し、桜並木を作ることになった。結成以来、町内の幼稚園に桜の植樹を続けていた石下ライオンズクラブもこの計画に賛同。認証30周年の記念事業として4本の桜を堤に植えた。

石下ライオンズクラブが植樹した桜は六東橋のすぐ近くにあり、現在は大きく枝を広げ、成長した姿を見せている。堤は市民の散歩コースになっており、この春も水害にも負けず美しく花を咲かせた桜の下を多くの市民が行き交っていた。

石下ライオンズクラブが植樹した数本先には故ライオン中山和之が夫人と連名で植えた「遊心桜」がある。「遊心」とはライオン中山が師事していた比叡山延暦寺の葉上照澄師から頂いた言葉で、ライオン中山は戒名にも「遊」の文字を入れたという。心を解き放ち、素の心で全てに臨むというこの言葉は、石下ライオンズクラブの精神的支柱として、ライオニズムの源ともなっている。

■石下ライオンズクラブ（中野潔会長／46人）＝1969年10月25日結成／小学校での薬物乱用防止教室や旧石下町の小中学校7校が参加する国際平和ポスター・コンテスト、更には中高生を対象にした茨城県独自の英語のフリートーク大会「英語インタラクティブフォーラム」をゾーン合同で開催するなど、青少年関連事業に力を入れる。この他、常総市ふるさとまつりへの参加といった地域活動から、フィリピンへの植林と平和の鐘寄贈、現地小学校への備品援助など海外での支援活動まで幅広く実施。常総水害では、救援活動や被災家屋の片付け、8回に及ぶ避難所での炊き出し等を実施。また被災した二つの幼稚園と小学校2校、中学校1校に各10万円の支援金を贈った。

表紙の背景

関帝廟

神奈川県横浜市

横浜が歴史の舞台に登場するのは幕末の黒船がきっかけ。開国を迫られた幕府はアメリカやイギリスなど5カ国と条約を結び、横浜、長崎、函館を開いた。当時の横浜は80軒ほどの漁師小屋が建ち並ぶ寒村で、アメリカは東海道の宿駅であった神奈川宿に近い神奈川湊の開港を求めていた。が、幕府は外国人と住民が接触するのを防ぐため神奈川湊を避け、東海道から外れた横浜に港を新設し、外国人居留地も整備した。

この時、外国人たちは筆談によって日本人との通訳が出来る中国人を伴ってきた。また横浜と上海、香港間に定期航路が開かれると大勢の華僑が来日。彼らは居留地の一角に関帝廟、中華会館、中華学校などを建設し中華街を築いた。当初は日用品や衣料品、食品を扱う店が多かったが、やがて中国人の職業は三把刀（料理、洋裁、理髪）という刃物を使う仕事に制限され、中華料理店が増えることになった。その後、１９７２年の日中国交回復後、中華街は観光地として発展。更に２００４年に横浜高速鉄道が開業し、元町・中華街駅が設置されると、アクセスと知名度が大幅に向上。現在は食の一大観光地として、年間2千万人以上が訪れている。

そんな横浜中華街の人たちが、心のより所としているのが関帝廟だ。開港3年後の１８６２年に建てられた小さな祠が始まりと言い、主神は三国志の英雄として有名な実在の武将関羽。旧暦の6月24日（今年は7月17日）には関羽の生誕日を祝い、中華街を代表する伝統行事「関帝誕」が開かれる。

※みなとみらい21線元町・中華街駅から徒歩5分、JR根岸線石川町駅から徒歩6分。

ふるさと探訪

不易流行。500年の歴史に新たな一歩を記す「嬉野茶寮」

佐賀県嬉野市

取材／鈴木秀晃　写真／田中勝明

嬉野茶寮のスタイルで、茶園の中に設けた天茶台でお茶をいれる副島仁さん
撮影協力／副島園（Tel.0954-43-0051）

嬉野

URESHINO

歴史ある嬉野三大ブランドのコラボが実現

5月27、28日の両日、嬉野の温泉街を望む山腹の茶園で、「嬉野茶寮」による新茶会が催された。これは嬉野温泉旅館、肥前吉田焼窯元、若手茶農家を中心とした「嬉野茶時プロジェクト」の一つ。

嬉野茶は500年以上の歴史を持ち、全国にその名を知られている。が、日本茶全体に占めるシェアは知名度の割には高くない。また、近年は高齢化や後継者不足により廃業する茶農家もあり、茶畑の面積は年々減少。嬉野茶時は、そうした現状に危機感を抱く若手茶農家たちが、お茶の新しい魅力を発掘し、自分たちから発信していこうと企画したもの。

その第一弾が、昨年8月、期間限定で開設した喫茶・嬉野茶寮だった。和多屋別荘と旅館大村屋の中にオープンした喫茶は、茶農家自らが自慢の茶葉でお茶を淹れサービスするという、今までにない形式のものだった。初めての試みで不安もあったが、ふたを開けてみると席待ちの客が列を成すほどの盛況ぶり。

あまりの反響の大きさに、1回限りの企画だったところ、年に4回、四季を表現する茶事として継続することが決定。初回の「うれしの晩夏」に続き、「うれしの深秋」、「うれしの春夢」、「うれしの花霞」を開催した。そして今回、特撰の新茶を楽しむ新茶会を実施。会場は、山の中腹にある茶園にしつらえた特設の「天茶台」で、客は各日限定10人。ゆったりと

嬉野市（うれしの）

嬉野市は佐賀県南西部、2006年1月1日に、長崎県境にあった嬉野町と、隣接する塩田町が合併して誕生。新市名は嬉野市で、新庁舎は元の塩田町役場に置かれた。嬉野は500年以上前から栽培されている嬉野茶の産地として知られ、また日本三大美肌の湯と言われる嬉野温泉、400年の歴史を持つ肥前吉田焼など、豊富な観光資源を持つ。一方の塩田は有明海の干満差を利用して発展した河港都市で、塩田川と長崎街道という水陸二本の動脈に挟まれて蔵造りの町家が軒を連ね、塩田津と呼ばれる地域は国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている。

面積／126・41平方キロ　人口／2万6794人（2017年4月1日現在／推計）

【交通アクセス】
建設中の九州新幹線長崎ルートに「嬉野温泉駅」（仮称）の設置が予定されているが、現在は市内に鉄道駅がなく、隣接する市町の肥前鹿島駅（長崎本線）、武雄温泉駅（佐世保線）、彼杵駅（大村線）が最寄駅となる
主要道は旧長崎街道をたどる国道34号。長崎自動車道嬉野ICがあり、長崎空港から約30キロ、佐賀空港からは約50キロ

新茶を味わってもらいながら、嬉野茶に対する茶農家の思いや栽培への姿勢を伝える貴重な機会となった。

嬉野茶時のキーマンは、嬉野温泉の老舗旅館・和多屋別荘の代表を務める小原嘉元さんと旅館大村屋第15代当主の北川健太さん、そして茶農家の副島仁さん。同世代の3人は、それぞれの立場で嬉野の将来を見据えた新しい動きを模索していた。そこへ、副島さんをリーダーとする若手茶農家が結集。更に嬉野茶、嬉野温泉と並ぶ伝統産業・肥前吉田焼の窯元にも加わってもらい、嬉野を代表する三大ブランドのコラボレーションが実現することになった。

嬉野茶寮が始まってまだ1年足らず。が、既に各方面から注目を集めており、今後、さまざまな展開も期待されている。その一つが「肥前吉田焼デザインコンペティション」。

肥前吉田焼は日常使いの生活雑器を中心に、400年もの歴史を持つ。ところが同じ肥前の焼き物でも、有田焼や波佐見焼に比べると極端に知名度が低い。ただ、吉田焼を目にしたり使ったりしたことのある人は実は結構多いはずなのだ。紺地に白いドット柄の急須や湯飲みがそれ。この水玉柄茶器は吉田焼の代名詞とも言われ、「日本の食卓の象徴」とし

「日本の食卓の象徴」とも評される紺地に白いドット柄は肥前吉田焼の代名詞ともなっている

て2010年グッドデザイン・ロングライフデザイン賞を受賞している。
　そんな吉田焼の可能性を広げようと始まったのがデザインコンペで、国内外のデザイナー109人が参加。選ばれた10点は3月の嬉野茶寮でお披露目され、更に今後、実際に商品化されて肥前吉田焼窯元会館などで販売されることになっている。

肥前吉田焼デザインコンペ入選作の一部

居蔵造りの町家が軒を連ねる塩田津の家並

　嬉野の温泉街から塩田川に沿って10キロほど河口へ下ると、蔵造りの家が軒を連ねる塩田津の町並みがある。江戸時代、長崎街道の宿場町として、また有明海の干満差を利用した河港都市として栄え、約1キロにわたって廻船問屋や商家が建ち並んだ。
　有明海の干満差は5〜6メートルもあり、その潮を利用してかなり大きな船が行き来していたらしい。中でも塩田津の発展に大きく関わったのが「天草石」で、熊本の天草地方で採取した陶石を島原湾、有明海を経て塩田川から直接運搬出来、また肥前の窯業地に近いことが利点となった。塩田津では荷揚げされた天草石を砕いて陶土や釉薬を作り、それを有田や伊万里、波佐見、吉田などの焼き物産地へ運び、それらの陶磁器や米が、帰りの荷となった。
　こうして発展した塩田津は明治に入って祐徳稲荷神社（鹿島市）〜武雄間の馬車軌道や、塩田〜嬉野間の県内初の電車開通など、時代の先端をいく開発が続き、ますますの繁栄を見せることになった。しかしその後、長崎本線の敷設や車社会の到来により船運の需要が激減。また昭和37年、昭和51年と2度にわたる塩田川の氾濫を機に川の付け替えが行われ、塩田津は河港としての歴史に幕を下ろすことになった。
　塩田津の町並みの特徴は「居蔵家（いぐらや）」と呼ばれる家屋が数多く残っていること。簡単に言えば店舗兼住宅なのだが、塩田津の場合はそれが重厚な蔵造りになっている。正徳元（1711）年や寛政元（1789）年の大火を始め5度にわたる火事で町の大半を焼失したことから、火事を出さない、またもらわない家屋として蔵造りが選ばれた。
　現在、重要伝統的建造物群保存地区に指定されている塩田津の町並みには、居蔵造りの家が17軒現存しており、非常に重厚なたたずまいを見せている。特に町並みの中ほどにある、国指定重要文化財の西岡家住宅と、国登録有形文化財の杉光陶器店は塩田津を代表する町家として、往時の繁栄ぶりを今にとどめている。
　また塩田川を外れ、塩田津から北へ3キロほど行くと、志田焼の里博物館がある。ここもかつて天草石による磁器の焼成が行われ、最盛期には

経済産業省認定の近代化産業遺産になっている「志田焼きの里博物館」

重要伝統的建造物群保存地区に指定され、居蔵造りの重厚な町家が軒を連ねる塩田津の町並み

嬉野温泉源泉の一つ。源泉の湯温は約100度と熱く、60軒ほどある温泉宿ではそれを冷まして使っている

五つの登り窯で大量の焼き物が生産されていた。志田焼の里博物館は大正から昭和にかけての大規模な磁器工場がそのまま博物館となったもの。国内最大級の大窯もあり、博物館の下にある焼き物倉庫群と共に、近代化産業遺産に認定されている。

■温泉湯豆腐

嬉野温泉の湯はナトリウムを多く含む弱アルカリ性の重曹泉で、この温泉水で木綿豆腐を煮ると、表面が溶け出し煮汁が豆乳色に変わる。角が取れ、とろとろになった豆腐を、薄い塩味を付けた煮汁と一緒にすすると、柔らかい食感とまろやかな味が堪能出来る。発祥の店と言われる「宗庵よこ長」の初代が、豆腐を温泉水で炊くと、とろけるような食感になることに着目し、料理に活用したことが始まり。今では嬉野市の名物料理となっている。その中で発祥の店では、直営工場で作った嬉野産大豆100%のこだわり豆腐を提供。残った煮汁で雑炊を作ってもおいしい。

撮影協力／宗庵よこ長（Tel.0954-42-0563）

▼取材協力クラブ

嬉野ライオンズクラブ（野中良平会長／18人）＝1964年3月22日結成／スポンサー：鹿島ライオンズクラブ／毎年8月に嬉野市戦没者慰霊塔の清掃を実施すると共に、遺族を招いて戦没者慰霊祭を開催している。慰霊塔の清掃は嬉野中学校生徒会との協働事業で、同中ではコミュニティースクール活動の一環として参加。嬉野ライオンズクラブは同中のコミュニティーサポートスタッフとなっており、戦没者慰霊塔清掃の他にも、警察と共に実施している飲酒運転撲滅運動キャンペーンに同中生徒に協力してもらったり、薬物乱用防止教室を開催したりしている。1979年から韓国南部の鎮海（チネ）ライオンズクラブと姉妹提携を結んでおり、毎年相互訪問を行いながら交流を深めている。

読者から―5月号

■電動義手の歴史を知って

「The Power of Service～奉仕の力」に、電動義手がライオンズのドネーションがきっかけで日本に広がったとありました。このことは知らなかったので、勉強になりました。このように、ライオンズが先駆けて、光を当てた事業を紹介するのは良いことだと思います。

獅子吼欄に掲載された「ユースキャンプでOB生が大活躍」を興味深く読みました。ユースキャンプでのOBの活躍が報じられたことで、今後他地区での活動の参考になると考えます。

東京豊新ライオンズクラブ●赤尾嘉晃

■薬物乱用防止事業の重要性

クラブ・リポート欄14～15ページで紹介されていた薬物乱用防止関連の事業は大変重要だと思います。覚せい剤を始めとした、さまざまな禁止薬物が市場に出回っており、今や日本では大人だけでなく子どもにまで、薬物の魔の手が伸びています。子どもたちに十分な知識を持ってもらうことが将来の日本を救うことにつながると思います。

「特集：LCIF」にて紹介されていた、世界各国のさまざまな取り組みは日本で行われていないような事業もあるため、大いに参考になる記事であると感じました。

北海道・室蘭北斗ライオンズクラブ●中嶋辛

■クラブ・リポート欄を参考に

ライオン歴15年。今期はゾーン・チェアパーソンとして初めて地区キャビネットに参加しております。

ライオン誌が送られてくると、まずクラブ・リポートから目を通します。私たちのゾーンで実施出来るような奉仕活動がないかを探すためです。

今後も、優良事例、珍しい奉仕活動、地域の評価の高かった事業、合同アクティビティ、クラブ交流活動など、さまざまな事業を、出来るだけ多く紹介してほしいと思っています。

兵庫県・春日ライオンズクラブ●田村庄一

■ライオン誌でメンバーの自覚

まだライオンズクラブに入会してから3年しか経っていないため、慣れていない面が多々あると思います。それでも、ライオン誌を読む度に、「自分はライオンズのメンバーなのだ」と意識を喚起されます。誌面構成、文章、情報、内容は新鮮で、感動致します。

東京新橋ライオンズクラブ●庄司芳樹

読者プレゼント

■無農薬栽培で育った嬉野茶を読者5人に

今月号「ふるさと探訪」(49～53ページ)で紹介した佐賀県嬉野市で、茶の栽培から加工、販売まで一貫して行う副島園の特撰玉緑茶「朝露」を5人の読者にプレゼントします。副島園は有機栽培にこだわったお茶作りに取り組み、「朝露」も天然玉露と言われる品種「あさつゆ」を無農薬栽培したものです。 渋みの少ない味わいが特徴で、色･味･香りのどれをとっても一級品の特撰茶です。

プレゼントをご希望の方は、はがきに「嬉野茶」と明記し、氏名、クラブ名、住所、電話番号をご記入の上、ライオン誌プレゼント係までご応募ください。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は7月末日。応募多数の場合は抽選となります。

【宛先】〒104-0028 東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階　一般社団法人 日本ライオンズ･ライオン誌
＊オンライン応募は、ライオン誌ウェブマガジン（www.thelion-mag.jp）の「プレゼント応募」から。

〈56ページクイズの解答〉 第1問=b.／第2問=c.／第3問=a.／第4問=a.／第5問=c.

『ライオン誌』バックナンバーから、読者の皆さんにぜひもう一度読んで頂きたい記事をピックアップ。スペースの関係上、多少の編集を加えている場合があります。

●1992年5月号　国際会長メッセージ

「75周年の祝賀に参加を」

ドナルド・E・バンカー国際会長

この75年間で、ライオンズクラブ国際協会は世界最大、かつ最も活動的な奉仕団体に成長しました。私たちの紋章と理想は、世界の174の国及び地域に浸透し、会員は現在140万人を数えています。そして、ライオンズ史上類のないほど遠大なプログラム「視力ファースト」に着手しました。「ライオンズクエスト」は薬物乱用との戦いの最前線にあります。

この四分の三世紀の間に、ライオンズが地域社会をより良くすることに貢献しているという評判が高まっています。ライオンズは地域の要望に応えてきました。世界中の人に生活の糧や住居を提供し、医療援助を施すなど、さまざまな活動を行ってきました。また、人道的奉仕活動へ今まで以上に参加する構想を持っており、これだけでも会員であることを誇りに思うに十分な理由ではないでしょうか。そうです、皆さん、国際的なライオニズム活動が始まって75周年を記念する今年は大いに祝うべきことがあるのです。

各クラブがその所属する地域社会において「ウィ・サーブ＝我々は奉仕する」精神の背後にある意味と、いかにしてライオンズが地域の要望に応えるべく働いてきたか、私たちの誇るべき歴史について、地域の皆さんに話してください。地元の人々の支援があって初めて、私たちが目指すゴールへ到達出来ることを伝えてください。そして、そのたゆまぬ支援が、これからの奉仕活動の発展とその行方の鍵を握っていることを話しましょう。

世界のあらゆる地域、国において、人々が助けを求めており、それは今後ますます高まっていきます。皆さん、より広範な奉仕プログラムを企画し、参加して、記念すべき75周年にしようではありませんか。それが、そうした要望に身を挺して応えていこうという、あなたの決意の表明になります。地元の活動や専門を生かした活動に、より広範に参加することで、個人としての地域社会への献身を示そうではありませんか。それは、地域のために自分の能力を生かすだけでなく、あなたはライオンである、つまりリーダーたる資格を持った人物だという証明でもあります。リーダーたる資格を持った人物とは、地域社会全体の状態に気を配り、地域をより良くするために人々と関わり、協力していくことを全くいとわない人間のことです。

ライオニズムを通じて地域に貢献出来ることを、友人や仕事仲間に伝え、男性でも女性でもさまざまな人々を招請しましょう。民間の奉仕事業の中でも比類ない活動の場があると知ってもらい、ライオンズクラブの会員になることで得られる人間的成長を経験してもらいましょう。

この特別な年に、地域の中で最も信望ある奉仕団体の会員になることで得られる喜びや恩恵を、他の人々と分かち合うことほど、ライオンズクラブの会員としての誇りを示す方法はありません。私たちは75年間、人々と関わり、人道主義的奉仕活動に従事してきたのです。参加し、世界中のライオンズと共に、祝いましょう。今こそ、私たちの前に横たわっている課題に再び取り組み、ライオンズクラブ国際協会の「ウィ・サーブ」精神に献身するための時なのです。

■本欄で紹介した記事を含むライオン誌アーカイブが、www.thelion-mag.jpでご覧頂けます

ライオン誌例会のススメ
―次の例会ですぐ使える情報

ライオンズ百科

■100周年記念奉仕事業

ライオンズクラブ100周年を記念する奉仕事業は世界各地で実施されている。国際協会の公式ブログやフェイスブックでは、各国のクラブによる記念奉仕チャレンジ（視力、青少年、飢餓、環境の4分野）の事業や、ライオンズの遺産となるレガシー・プロジェクトの成果の数々を見ることが出来る。例えば、インドのハイデラバード・サウスライオンズクラブは子どもたち200人に食事を提供。アメリカ・ワシントン州ベリンハム・セントラル ライオンズクラブは公園に市民の手による壁画を制作。ニュージーランドのカータートンライオンズクラブは町の創設者の慈善家チャールズ・カーターの銅像を建立。イタリアのカザラーノ ライオンズクラブは子どもたちの遊び場を整備。マレーシアのクアラルンプール・セントラルライオンズクラブは学習支援の必要な児童のための教室を開設した。

クイズ de 例会

〈第1問〉ライオンズクラブが創設されたのは何年？

a. 明治6年　b. 大正6年　c. 昭和6年

〈第2問〉100周年を記念し地域社会に役立つ形の残る贈り物をしようというプログラムの名称は、コミュニティー・〇〇・プロジェクト。

a. フォーワード
b. センテニアル
c. レガシー

〈第3問〉100周年を機に国際協会が出した戦略計画の名称は、LCI〇〇。

a. フォーワード
b. センテニアル
c. レガシー

〈第4問〉国際本部事務局の所在地オークブルックがある州は？

a. イリノイ州
b. ワシントン州
c. カリフォルニア州

〈第5問〉日本国内にある複合地区の数は？

a. 6　b. 7　c. 8

★回答は54ページ下

この日・この月

7月4日は「アメリカ独立記念日」。1776年のこの日、イギリスからの独立が正式に宣言され、新たな独立国家アメリカ合衆国が形成された。イギリスとの独立戦争が集結したのは83年のことで、この年に当時の13州で独立記念日が祝日に制定され、その後1941年になって合衆国の休日と定められた。

独立記念日には家族や仲間と一緒にピクニックやバーベキューを楽しむのが典型的な過ごし方で、全米各地でパレードやスポーツ、花火などのイベントが催される。ライオンズクラブ国際大会がアメリカの都市で開かれる場合には、独立記念日を含めた日程が組まれることが多い。6月30日に始まる100周年記念シカゴ国際大会では、閉会式が開かれる大会最終日が独立記念日に当たっている。この日の午後にはメジャーリーグ、シカゴ・カブズの本拠地リグレー・フィールドでタンパ・ベイ・レイズとの試合が、夜にはグラント・パークで無料コンサートがあり、ミシガン湖畔で打ち上げられる盛大な花火が夜空を彩る。

8月号予告

特集 100周年記念シカゴ国際大会

創設100周年を記念する国際大会が、6月30日～7月4日、ライオンズクラブ誕生の地シカゴで開催される。世界のライオンズが共に100周年を祝う歴史的な大会の模様を豊富な写真と共に伝える。2017-18年度国際会長の方針や、その人となりを伝えるストーリーも掲載。

イギリスのアベリストウィス、フィリピンのラオアク・ユナイテッド両ライオンズクラブが協力し、恵まれない子どもたちに食事を提供

Official publication of Lions Clubs International

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオンズクラブ国際協会の公式出版物であるライオン誌は、国際理事会の認可を得て次の20カ国語で発行される－英語、スペイン語、日本語、フランス語、スウェーデン語、イタリア語、ドイツ語、フィンランド語、韓国語、ポルトガル語、オランダ語、デンマーク語、中国語、ノルウェー語、アイスランド語、トルコ語、ギリシャ語、ヒンディー語、インドネシア語、タイ語

ライオン誌日本語版委員会
国際理事　安井 克之
国際理事　佐藤 宜之
国際理事　中村 泰久
委員長　石井 博之（334複合地区）
編集長　佐藤 義則（332複合地区）
委員　久津間康允（330複合地区）
委員　佐々木忠康（331複合地区）
委員　渡邉 信也（333複合地区）
委員　中村 房雄（335複合地区）
委員　矢野 敏明（336複合地区）
委員　小柴 登司（337複合地区）

一般社団法人日本ライオンズ
ライオン誌日本語版委員会
〒104-0028東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階
TEL.(03)6674-8777 FAX.(03)6674-8781
E-mail. edit@thelion.jp
Website: www.thelion-mag.jp

編集室

読者に愛され、必要とされるライオン誌

ライオン誌
日本語版委員
◉
久津間康允
（神奈川県・小田原白梅）

1952年にライオンズクラブが日本に上陸してから6年後の58年8月、国際協会の公式機関誌、ライオン誌日本語版の創刊号が発行された。

それまで日本の会員には国際本部発行の英語版が届けられていた。日本語版発刊に向けて当時の地区ガバナーが国際本部を訪れた際、これに対応した創設者メルビン・ジョーンズは、一定の会員数に達すれば発刊は可能だとし、「出来ますかな?」とほほ笑んだという。

以来、ライオン誌日本語版は国内外のアクティビティやあらゆるライオンズ情報、国際会長の方針やメッセージを含む本部発信の指定記事など、多彩な記事で誌面を構成して発行されている。共に分かち合う情報交換の誌として、日本のライオンズクラブの歴史と共に発展してきた。

現在我々を取り巻く環境は大きな変革の時期にあり、次の100年に向けて足腰を強めなくてはならない状況にある。そうした中、国際協会の方針により、2018年1月から公式版ライオン誌のデジタル化を進める予定であることは、再々ライオン誌委員が本欄に載せており、読者諸兄にはご理解頂けていることと思う。

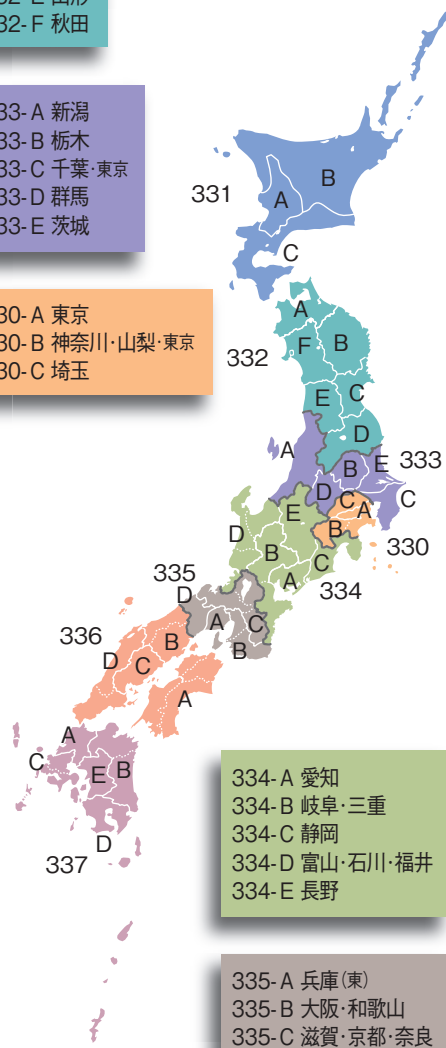
これについて当委員会が全国のクラブを対象に行ったアンケートの結果、国際協会の補助金が減額される中で今後印刷版発行をどうすべきかの問いに対し、回答のあったクラブ・メンバーの73・9%が「現行の質と量を維持し、発行出来る分で良い」と回答された。「若い世代への取り組みもいいが、これまでライオンズを真摯に築き上げてきた先輩たちにも配慮を」「わざわざパソコンを開いてライオン誌を読むだろうか、手の届く場所に新聞や雑誌があるからこそ、読んだり見たりするのではないか」など、貴重なご意見も多数頂いた。

委員会ではこの結果を受けて慎重に議論を重ね、デジタル版の充実と並行して、年6回、隔月の印刷版を発行することでソフト・ランディングを図りたい。

今後も奉仕活動の情報発信誌として、読者に愛され、必要とされるライオン誌であり続けたい。

日本ライオンズクラブ分布図

2017.5.31　eMMR ServannA報告による

地区	クラブ数	会員数	増減	男女別会員数		家族会員数			
				男性	女性（割合）	子会員	増減	男性	女性
330-A	201	6,490	87	4,699	1,791（27.6）	1,856	10	612	1,244
330-B	165	4,536	37	3,807	729（16.1）	471	−14	124	347
330-C	84	2,378	27	1,930	448（18.8）	381	3	129	252
330 計	450	13,404	151	10,436	2,968（22.1）	2,708	−1	865	1,843
331-A	72	2,779	45	2,222	557（20.0）	486	27	94	392
331-B	85	2,735	−7	2,189	546（20.0）	479	−2	66	413
331-C	51	1,924	2	1,572	352（18.3）	331	−1	85	246
331 計	208	7,438	40	5,983	1,455（19.6）	1,296	24	245	1,051
332-A	63	2,225	102	1,697	528（23.7）	430	52	93	337
332-B	53	2,447	31	1,605	842（34.4）	869	16	152	717
332-C	67	1,948	59	1,372	576（29.6）	554	29	118	436
332-D	71	2,546	56	1,943	603（23.7）	559	32	117	442
332-E	56	2,093	59	1,628	465（22.2）	387	2	59	328
332-F	44	1,422	22	1,032	390（27.4）	329	2	58	271
332 計	354	12,681	329	9,277	3,404（26.8）	3,128	133	597	2,531
333-A	73	3,272	44	2,551	721（22.0）	684	42	174	510
333-B	48	1,734	−8	1,096	638（36.8）	602	17	152	450
333-C	134	3,517	−22	2,677	840（23.9）	521	−62	145	376
333-D	54	2,463	17	1,784	679（27.6）	700	−26	169	531
333-E	82	4,876	55	3,163	1,713（35.1）	1,923	−62	518	1,405
333 計	391	15,862	86	11,271	4,591（28.9）	4,430	−91	1,158	3,272
334-A	121	6,988	101	4,584	2,404（34.4）	2,433	12	490	1,943
334-B	79	4,782	12	3,271	1,511（31.6）	1,673	−78	340	1,333
334-C	80	3,514	33	2,900	614（17.5）	534	−38	74	460
334-D	98	6,021	216	4,002	2,019（33.5）	2,164	95	404	1,760
334-E	52	2,713	27	1,916	797（29.4）	802	−34	208	594
334 計	430	24,018	389	16,673	7,345（30.6）	7,606	−43	1,516	6,090
335-A	81	2,161	20	1,697	464（21.5）	225	3	34	191
335-B	169	6,640	23	4,831	1,809（27.2）	1,539	16	326	1,213
335-C	116	4,135	86	3,452	683（16.5）	409	−2	91	318
335-D	64	2,035	−8	1,568	467（22.9）	327	−6	74	253
335 計	430	14,971	121	11,548	3,423（22.9）	2,500	11	525	1,975
336-A	147	6,306	201	4,774	1,532（24.3）	1,122	21	215	907
336-B	94	3,296	−96	2,640	656（19.9）	465	−33	78	387
336-C	96	3,516	74	2,938	578（16.4）	416	68	76	340
336-D	92	3,363	−28	2,825	538（16.0）	365	−59	42	323
336 計	429	16,481	151	13,177	3,304（20.0）	2,368	−3	411	1,957
337-A	116	5,540	53	3,970	1,570（28.3）	1,250	11	267	983
337-B	69	2,982	89	2,178	804（27.0）	801	39	169	632
337-C	81	4,175	−58	2,780	1,395（33.4）	1,435	−98	417	1,018
337-D	76	2,371	20	2,030	341（14.4）	180	−8	37	143
337-E	58	1,874	107	1,498	376（20.1）	281	59	76	205
337 計	400	16,942	211	12,456	4,486（26.5）	3,947	3	966	2,981
総計	3,092	121,797	1,478	90,821	30,976（25.4）	27,983	33	6,283	21,700

世界のライオンズ

2017.5.31　国際協会集計

国または領域………212　クラブ数………47,593
会員数……1,421,453　会員数増減……41,964

ライオン誌日本語版出版物

ライオンズ新書

ライオンズ新書01 ライオンズ力を高める 第1版第2刷

ライオンズクラブの歴史や組織からクラブ運営の全般までを、分かりやすく系統的にまとめた。1983年に刊行した『ライオンズ スピリット』の後継書。
新書判 224ページ
1部500円·送料実費

●大口注文割引：100〜499部＝1部450円／500部以上＝1部400円

ライオンズ新書02 LCIF早分かり 第2版第1刷

ライオンズクラブ国際財団の目的や仕組み、寄せられた献金がライオンズの人道奉仕にどのように生かされているかなど、LCIFの概要や意義をまとめた。
新書判 184ページ
1部400円·送料実費

●大口注文割引：100〜499部＝1部350円／500部以上＝1部300円

ライオンズスクール·シリーズ

初級編·ライオンズクラブ入門 第3版第6刷

入会したての新会員を対象に、これだけは知っておきたいライオンズクラブの基礎知識をまとめた。併せて「ライオンズ用語集」も収録。
A4判 64ページ
1部400円·送料実費

上級編·リーダーシップを養う 第1版第5刷

国際協会の総合的リーダシップ育成プログラムを基に編集。地区役員研修会などの副読本に、またクラブ会長や地区役員の指導力育成に最適。
A4判 64ページ
1部400円·送料実費

●大口注文割引(ライオンズスクール·シリーズ)：100〜499部＝1部350円／500部以上＝1部300円

■合計で2万円以上ご注文の場合、送料無料（組み合わせは問いません)。※ただし、急ぎの場合は実費請求
■お申し込みはEメール(office@thelion.jp)またはファクス(03-6674-8781)でお願いします

ライオン誌日本語版出版物　注文書

●『ライオンズ力を高める』成り立ちから組織、運営まで分かる簡単ガイド ………… □部
●『LCIF早分かり』世界ナンバー1 NGOの簡単ガイド ………… □部
●ライオンズスクール初級編『ライオンズクラブ入門』 ………… □部
●ライオンズスクール上級編『リーダーシップを養う』 ………… □部

地区名 33 -	クラブ名	お名前（クラブで注文の場合は不要）
ご住所 〒 -		お電話番号

ライオン誌7月号
昭和33年12月19日付第三種郵便物認可　定価180円　送料実費78円
2017年(平成29年)6月20日発行　毎月1回20日発行　第60巻第1号

発行／一般社団法人日本ライオンズ ライオン誌日本語版委員会　〒104-0028 東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階　Tel 03-6674-8777
印刷／凸版印刷株式会社

世界中の子どもたちの笑顔が見たい!

300 W 22ND STREET, OAK BROOK, IL 60523-8842, USA
Phone: 630-571-5466　Fax: 630-571-5735
E-mail: lcif@lionsclubs.org
http://www.lcif.org/JA/index.php